KONICA MINOLTA

The essentials of imaging

bizhub C652/C652DS/C552/C552DS/C452

ユーザーズガイド　ファクスドライバー機能編



もくじ

1 はじめに

1 はじめに

このたびは弊社製品をお買い上げいただき、誠にありがとうございます。

本製品にオプションの FAX キットを装着すると、Windows 対応コンピューターから直接ファクスとして送信することができます。

このユーザーズガイドには、ファクス送信で利用するファクスドライバーの機能や操作方法、使用上のご注意などについて記載しています。本機の性能を十分に発揮させて、効果的にご利用いただくために、必要に応じてこのユーザーズガイドをお読みください。

安全に正しくお使いいただくために、操作の前には必ず別冊の「安全にお使いいただくために」をお読みください。

商標およびライセンスについては、別冊の「商標／ライセンスについて」をごらんください。ユーザーズガイド内で使用しているイラストなどは、実際の装置とは異なる場合があります。

1.1 本書について

1.1.1 本書の構成

本書は、以下の章から構成されています。

第 1 章 はじめに
第 2 章 概要
第 3 章 ファクスドライバーのインストール
第 4 章 ファクスドライバーの設定
第 5 章 トラブルシューティング
第 6 章 付録
第 7 章 索引

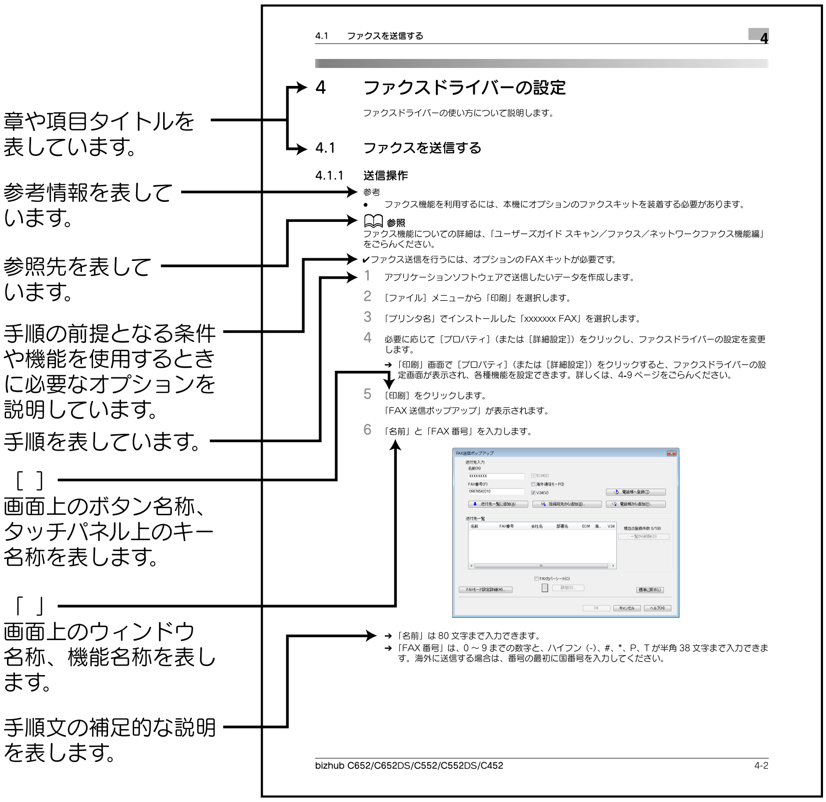
1.1.2 表記について

製品名	本書の表記
プリンター本体（本機）	本機、プリンター
内蔵ネットワークコントローラー	ネットワークコントローラー
プリンターコントローラー、本機を組み合わせたプリンティングシステム	プリンティングシステム
Microsoft Windows	Windows

1.1.3 本書で使用している画面について

ファクスドライバーの機能に関する説明は、とくに断りのない限り、Windows Vista 用ファクスドライバーを使用して説明しています。

1.1.4　ページの見方



章や項目タイトルを表しています。
参考情報を表しています。
参照先を表しています。
手順の前提となる条件や機能を使用するときに必要なオプションを説明しています。
手順を表しています。
［　］
画面上のボタン名称、タッチパネル上のキー名称を表します。
「　」
画面上のウィンドウ名称、機能名称を表します。
手順文の補足的な説明を表します。
4.1　ファクスを送信する
4
4　ファクスドライバーの設定
ファクスドライバーの使い方について説明します。
4.1　ファクスを送信する
4.1.1　送信操作
参考
ファクス機能を利用するには、本機にオプションのファクスキットを装着する必要があります。
参照
ファクス機能についての詳細は、「ユーザーズガイド スキャン／ファクス／ネットワークファクス機能編」をごらんください。
ファクス送信を行うには、オプションのFAXキットが必要です。
1　アプリケーションソフトウェアで送信したいデータを作成します。
2　［ファイル］メニューから［印刷］を選択します。
3　［プリンタ名］でインストールした「xxxxxxx FAX」を選択します。
4　必要に応じて［プロパティ］（または［詳細設定］）をクリックし、ファクスドライバーの設定を変更します。
→「印刷」画面で［プロパティ］（または［詳細設定］）をクリックすると、ファクスドライバーの設定画面が表示され、各種機能を設定できます。詳しくは、4-9ページをごらんください。
5　［印刷］をクリックします。
「FAX送信ポップアップ」が表示されます。
6　「名前」と「FAX番号」を入力します。
→「名前」は80文字まで入力できます。
→「FAX番号」は、0～9までの数字と、ハイフン(-)、#、*、P、Tが半角38文字まで入力できます。海外に送信する場合は、番号の最初に国番号を入力してください。
bizhub C652/C652DS/C552/C552DS/C452
4-2

2 概要

2 概要

PC-FAX 機能を実現するプリンターコントローラーの概要と接続環境を説明します。

2.1 プリンターコントローラーとは

プリンターコントローラーは、本機をプリンターとして利用するための装置です。コンピューターからファクス送信する PC-FAX の場合も、プリンターコントローラーが実現しているプリンター機能を利用します。

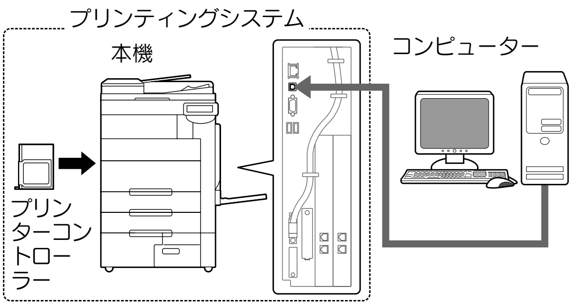
2.1.1 プリンターコントローラーの役割

参考

- ファクス送信を行うには、オプションの FAX キットが必要です。

プリンターコントローラーは、あらかじめ、本機に内蔵されています。

本機とつながっているコンピューター上のアプリケーションから印刷およびファクス送信ができます。本機をネットワークプリンターとして使用する場合も、コンピューター上のアプリケーションから印刷およびファクス送信ができます。



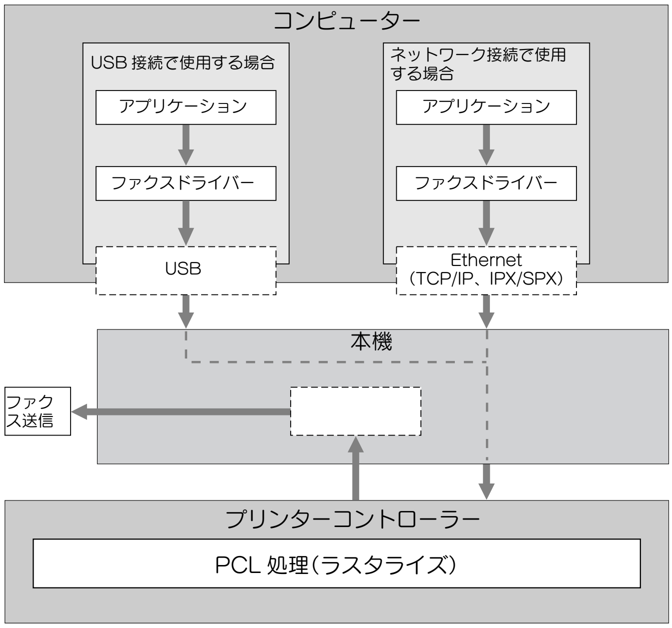
2.1.2 PC-FAX 送信の流れ

通常、ファクスを送信するときは、紙に書かれたものや印刷されたものをファクスにセットして送信します。

ファクスドライバーを使用すると、コンピューターから操作するだけで、紙を使用せずにファクスを直接送信できます（PC-FAX 送信）。

アプリケーションから送られた送信データは、ファクスドライバーが受け取ります。

USB 接続で使用する場合は USB インターフェース、ネットワーク接続で使用する場合は Ethernet（TCP/IP、IPX/SPX）を通じてデータが本機に送られ、本機からプリンターコントローラーに渡されます。プリンターコントローラーでは画像のラスタライズ（出力する文字や画像をビットマップデータに展開する）処理が行われます。このデータが本機のメモリに蓄積され、通常のファクスジョブと同様にファクス送信されます。



2.2 動作環境

本プリンティングシステムを使うために必要なシステムについて説明します。

2.2.1 接続できるコンピューターと OS

接続するコンピューターが、以下の条件を満たしていることを確認してください。

Windows

オペレーティングシステム	Windows NT Workstation Version 4.0（SP6 以降） Windows NT Server Version 4.0（SP6 以降） Windows 2000 Professional（SP4 以降） Windows 2000 Server（SP3 以降） Windows XP Home Edition（SP1 以降）*1 Windows XP Professional（SP1 以降）*1 Windows Server 2003, Standard Edition（SP1 以降） Windows Server 2003, Enterprise Edition（SP1 以降） Windows Server 2003 R2, Standard Edition Windows Server 2003 R2, Enterprise Edition Windows XP Professional x64 Edition Windows Server 2003, Standard x64 Edition Windows Server 2003, Enterprise x64 Edition Windows Server 2003 R2, Standard x64 Edition Windows Server 2003 R2, Enterprise x64 Edition Windows Vista Business *2 Windows Vista Enterprise *2 Windows Vista Home Basic *2 Windows Vista Home Premium *2 Windows Vista Ultimate *2 Windows Server 2008 Standard *2 Windows Server 2008 Enterprise *2 *1 インストーラーの動作条件は SP2 以降。 *2 32 ビット (x86)/64 ビット (x64) 環境に対応。
CPU	OS が推奨する環境以上
メモリ	OS が推奨するメモリ容量 OS および使用するアプリケーションにおいて、メモリリソースが十分であること。
ドライブ	CD-ROM ドライブ

2.3　セットアップの流れ

本プリンティングシステムをご使用いただくためには、セットアップを行う必要があります。

セットアップとは、本機とコンピューターを接続し、ファクスドライバーをコンピューターへインストールする一連の準備をいいます。

セットアップする場合は、以下の流れとなります。

2.3.1　ネットワーク接続の場合

参照

本機とコンピューターを接続する方法については、「ユーザーズガイド プリンター機能編」をごらんください。

既存のファクスドライバーをアップデートする場合は、先に既存のファクスドライバーを削除してください。詳しくは、3-19 ページをごらんください。

本書では、ネットワーク接続のセットアップ方法として、Port 9100/IPP/IPPS（インストーラーでインストールする場合）と、LPR/Port 9100（プリンタの追加ウィザードでインストールする場合）について説明しています。その他のセットアップ方法については、「ユーザーズガイド プリンター機能編」をごらんください。

1. 本機とコンピューターを接続します。
2. 使用するコンピューターがネットワークに接続されていることを確認します。
3. 本機の IP アドレスを設定し、ネットワークに接続します。
4. 接続方法やプロトコルに応じて、本機のネットワーク設定を変更します。
   - ➔ LPR：「LPD 設定」で LPD 印刷を使用可能に設定しておきます。
   - ➔ Port 9100：「TCP/IP 設定」で RAW ポート番号（初期設定では「9100」）を使用可能にしておきます。
   - ➔ SMB：「SMB 設定」の「プリント設定」を設定しておきます。
   - ➔ IPP/IPPS：「IPP 設定」で IPP 印刷を使用可能に設定しておきます。
   - ➔ Web サービス印刷：「Web サービス設定」でプリント機能を使用可能に設定しておきます。
5. ファクスドライバーをインストールします。
   - ➔ 接続方法やプロトコルに応じてファクスドライバーのネットワークポートを設定します。

2.3.2　ローカル接続の場合

1. 本機とコンピューターを接続します。
2. ファクスドライバーをインストールします。

3 ファクスドライバーのインストール

3 ファクスドライバーのインストール

ファクスドライバーのインストール方法について説明します。

3.1 接続方法とインストール方法

本プリンティングシステムを使用するためには、ファクスドライバーのインストールが必要です。ファクスドライバーとは、出力するデータの処理などを制御するプログラムで、使用する前に付属の CD からコンピューターにインストールします。

Windows ファクスドライバーのインストール方法は、使用する OS や接続方法によって異なります。

参照

ネットワーク環境での設定方法については、「ユーザーズガイド ネットワーク管理者編」をごらんください。

3.1.1 Windows Vista/Server 2008

参考

- Windows Vista/Server 2008 の場合は、Administrator 権限のあるユーザー名でログオンしてプリンタードライバーをインストールしてください。

セットアップ方法	接続方法		参照ページ
インストーラーでセットアップが可能な接続方法	ネットワーク接続	Port 9100	p. 3-4 * 接続方法はインストールの途中で選択します。接続方法が Port 9100、USB の場合は「標準印刷」、IPP の場合は「インターネット印刷」、IPPS の場合は「セキュリティ印刷」を選択してください。 * インストーラーは IPv4/IPv6 の環境の両方に対応していますが、IPv6 の場合は Port 9100 のみの対応になります。
		IPP	
	USB		
プリンタの追加ウィザードでセットアップが可能な接続方法	ネットワーク接続	LPR	p. 3-9
		Port 9100	
		SMB	
		IPP/IPPS	
		Web サービスプリント	
	USB		
プラグアンドプレイでセットアップが可能な接続方法	USB		p. 3-17

参照

ネットワーク環境で利用するには、あらかじめ本機のネットワーク設定が必要です。詳しくは、「ユーザーズガイド ネットワーク管理者編」をごらんください。

参考

- 本書では、プリンタの追加ウィザードでセットアップする方法として、LPR/Port 9100 印刷の方法のみ説明しています。その他のネットワーク接続（SMB、IPP/IPPS、Web サービスプリント）については、「ユーザーズガイド プリンター機能編」をごらんください。
- 本書では、USB 接続のセットアップ方法として、プラグアンドプレイの方法のみ説明しています。

3.1.2 Windows 2000/XP/Server 2003

参考

- Windows 2000/XP/Server 2003 の場合は、Administrator 権限のあるユーザー名でログオンしてプリンタードライバーをインストールしてください。

セットアップ方法	接続方法		参照ページ
インストーラーでセットアップが可能な接続方法	ネットワーク接続	Port 9100	p. 3-4 * 接続方法はインストールの途中で選択します。接続方法が Port 9100、USB の場合は「標準印刷」、IPP の場合は「インターネット印刷」、IPPS の場合は「セキュリティ印刷」を選択してください。
		IPP/IPPS	
	USB		
プリンタの追加ウィザードでセットアップが可能な接続方法	ネットワーク接続	LPR	p. 3-12 p. 3-15
		Port 9100	
		SMB	
		IPP/IPPS	
	USB		
プラグアンドプレイでセットアップが可能な接続方法	USB		p. 3-17

参照

ネットワーク環境で利用するには、あらかじめ本機のネットワーク設定が必要です。詳しくは、「ユーザーズガイド ネットワーク管理者編」をごらんください。

参考

- 本書では、プリンタの追加ウィザードでセットアップする方法として、LPR/Port 9100 印刷の方法のみ説明しています。その他のネットワーク接続（SMB、IPP/IPPS）については、「ユーザーズガイド プリンター機能編」をごらんください。
- インストーラーでは、Windows 2000/XP/Server 2003 の IPv6 環境でのインストールは対応していません。
- 本書では、USB 接続のセットアップ方法として、プラグアンドプレイの方法のみ説明しています。

3.1.3 Windows NT 4.0

参考

- Windows NT 4.0 の場合は、Administrator 権限のあるユーザー名でログオンしてプリンタードライバーをインストールしてください。

セットアップ方法	接続方法		参照ページ
インストーラーでセットアップが可能な接続方法	ネットワーク接続	LPR	p. 3-5 * 接続方法はインストールの途中で選択します。接続方法が LPR の場合は「標準印刷」を選択してください。
プリンタの追加ウィザードでセットアップが可能な接続方法	ネットワーク接続	LPR	p. 3-15

参照

ネットワーク環境で利用するには、あらかじめ本機のネットワーク設定が必要です。詳しくは、「ユーザーズガイド ネットワーク管理者編」をごらんください。

参考

- Windows NT 4.0 で、ネットワークに TCP/IP プロトコルで直接接続されている本機をインストールするには、お使いのコンピューターにあらかじめ Microsoft TCP/IP 印刷サービスがインストールされている必要があります。
- Windows NT 4.0 でインストーラーを使用するときは、コンピューターに Internet Explorer 5.0 以降がインストールされている必要があります。
- インストーラーでは、Windows NT 4.0 の IPv6 環境でのインストールは対応していません。

3.2 インストーラーによる自動インストール

本インストーラーを利用すると、コンピューターと同じ TCP/IP ネットワーク上の本機や、USB で接続されている本機が自動的に検出され、必要なプリンタードライバーと同時にファクスドライバーもインストールできます。また、手動で指定してインストールすることも可能です。

3.2.1 インストーラーの動作環境

OS	Windows NT Workstation Version 4.0（SP6 以降） Windows NT Server Version 4.0（SP6 以降） Windows 2000 Professional（SP4 以降） Windows 2000 Server（SP3 以降） Windows XP Home Edition（SP2 以降）*1 Windows XP Professional（SP2 以降）*1 Windows Server 2003, Standard Edition（SP1 以降） Windows Server 2003, Enterprise Edition（SP1 以降） Windows Server 2003 R2, Standard Edition Windows Server 2003 R2, Enterprise Edition Windows XP Professional x64 Edition Windows Server 2003, Standard x64 Edition Windows Server 2003, Enterprise x64 Edition Windows Server 2003 R2, Standard x64 Edition Windows Server 2003 R2, Enterprise x64 Edition Windows Vista Business *2 Windows Vista Enterprise *2 Windows Vista Home Basic *2 Windows Vista Home Premium *2 Windows Vista Ultimate *2 Windows Server 2008 Standard *2 Windows Server 2008 Enterprise *2 *1 ファクスドライバーの動作条件は SP1 以降。 *2 32 ビット (x86)/64 ビット (x64) 環境に対応。
CPU	OS が推奨する環境以上
メモリ	OS が推奨するメモリ容量 OS および使用するアプリケーションにおいて、メモリリソースが十分であること。

参考

- インストーラーは Windows Vista/Server 2008 の場合のみ IPv4/IPv6 環境の両方に対応しています。ただし、Windows Vista/Server 2008 での「セキュリティ印刷（IPPS）」および IPv6 環境での「インターネット印刷（IPP）」には対応していません。
- Windows NT 4.0 で、ネットワークに TCP/IP プロトコルで直接接続されている本機をインストールするには、お使いのコンピューターにあらかじめ Microsoft TCP/IP 印刷サービスがインストールされている必要があります。
- Windows NT 4.0 でインストーラーを使用するときは、コンピューターに Internet Explorer 5.0 以降がインストールされている必要があります。

3.2.2 本機の設定

ネットワーク接続の場合は、あらかじめ本機のネットワーク設定が必要です。

本機の TCP/IP 設定

本機の「TCP/IP 設定」で IP アドレスを設定しておきます。

参照

ネットワーク接続の場合は、本機を自動的に検出するため、あらかじめ本機に IP アドレスを設定しておく必要があります。詳しくは、「ユーザーズガイド ネットワーク管理者編」をごらんください。

本機の RAW ポート番号 /IPP 設定

接続方法やプロトコルに応じて、本機のネットワーク設定を変更します。

- Port 9100：「TCP/IP 設定」で RAW ポート番号（初期設定では「9100」）を使用可能にしておきます。
- IPP/IPPS：「IPP 設定」で IPP 印刷を使用可能に設定しておきます。

参照

本機の TCP/IP 設定、IPP 設定については、「ユーザーズガイド ネットワーク管理者編」をごらんください。

IPPS 印刷を利用する場合は、本機に証明書を登録しておく必要があります。本機には自己証明書があらかじめインストールされており、利用することができます。詳しくは、「ユーザーズガイド ネットワーク管理者編」をごらんください。

3.2.3 インストール

参考

- Windows NT 4.0/2000/XP/Vista/Server 2003/Server 2008 にインストールするときは、管理者権限が必要です。

1 プリンタードライバーの CD-ROM をコンピューターの CD-ROM ドライブに入れます。

   ➔ インストーラーが起動するのを確認し、手順 2 へ進みます。
   ➔ インストーラーが起動しない場合は、CD-ROM 内のプリンタードライバーのフォルダーを開いて「Setup.exe」をダブルクリックし、手順 3 へ進みます。
   ➔ USB 接続で、新しいハードウェアを追加するためのウィザード画面が表示された場合は、[キャンセル] をクリックしてください。
   ➔ Windows Vista/Server 2008 にインストールする場合、「ユーザーアカウント制御」に関する画面が表示されるときは、[許可] または [続行] をクリックします。

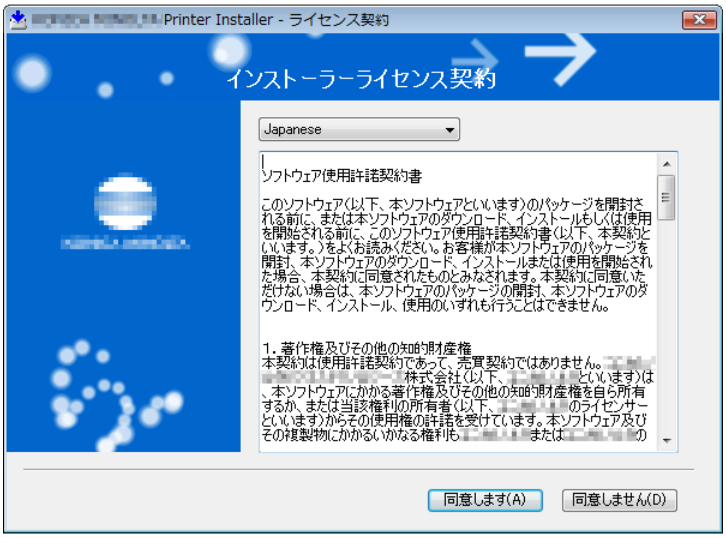
2 [プリンターのインストール] をクリックします。

   プリンタードライバーのインストーラーが起動します。

3　使用許諾契約書のすべての条項に同意する場合は、［同意します］をクリックします。

➔ 同意していただけない場合は、インストールできません。

➔ 言語が表示されているボックスでインストーラーの表示言語を変更できます。

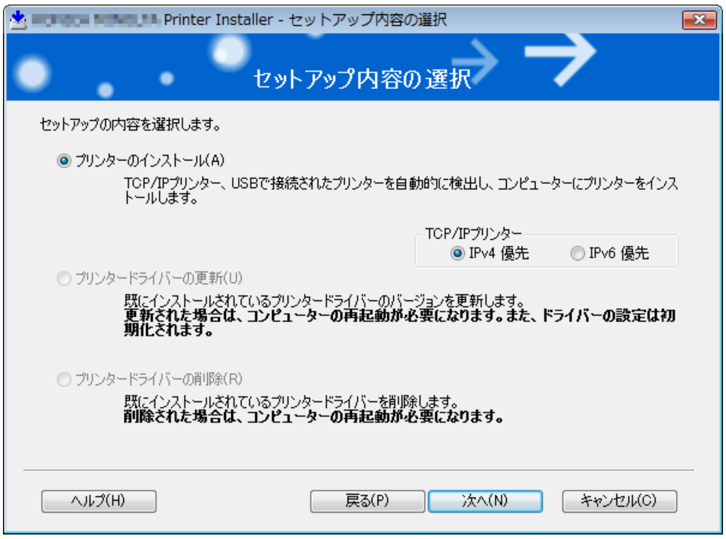


4　セットアップの内容を選択する画面が表示された場合は「プリンターのインストール」を選択して［次へ］をクリックします。

接続されているプリンター・複合機が検出されます。

➔ Windows Vista/Server 2008 の場合は、IPv4 優先 /IPv6 優先を選択できます。検出するプリンター・複合機が IPv4 と IPv6 の両方で検出したとき、優先するアドレスになります。

➔ プリンターが検出されない場合は、本機の電源を OFF/ON してください。
電源を OFF/ON するときには、OFF にしたあと、約 10 秒たってから ON にしてください。すぐに ON にすると正常に機能しないことがあります。



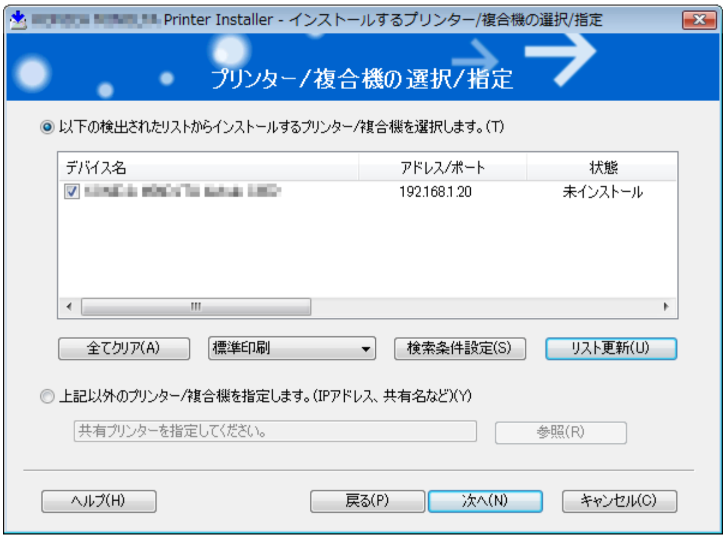
5 本機を選択して［次へ］をクリックします。

➔ 本機の接続が認識できないときは、リストに表示されません。この場合は、画面下部の「上記以外のプリンター／複合機を指定します。(IP アドレス、共有名など)」を選択し、手動で指定してください。

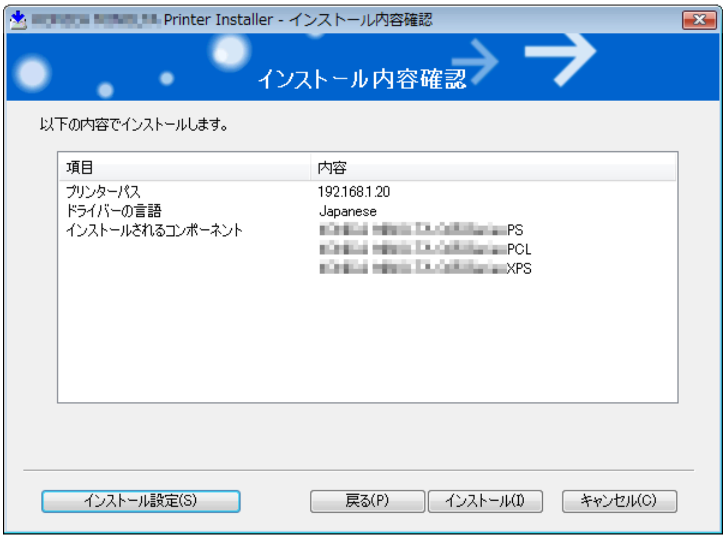
➔ 接続の方法として、「標準印刷（Port 9100、USB)」のほか、「インターネット印刷（IPP)」や「セキュリティ印刷（IPPS)」を選択できます。ただし、「セキュリティ印刷（IPPS)」は、Web Connection で SSL が ON になっており、かつ IPP が有効な場合に利用できます。

➔ Windows Vista/Server 2008 の場合は、インストーラーを使って「IPPS 接続（セキュリティ印刷)」のセットアップを行うことはできません。IPPS 接続にする場合は、プリンタの追加ウィザードでセットアップしてください。詳しくは、3-9 ページをごらんください。

➔ IPv6 環境での「インターネット印刷（IPP)」や「セキュリティ印刷（IPPS)」には対応していません。



6 ［インストール設定］をクリックします。



7　インストールするコンポーネントでファクスドライバーを選択し、［OK］をクリックします。



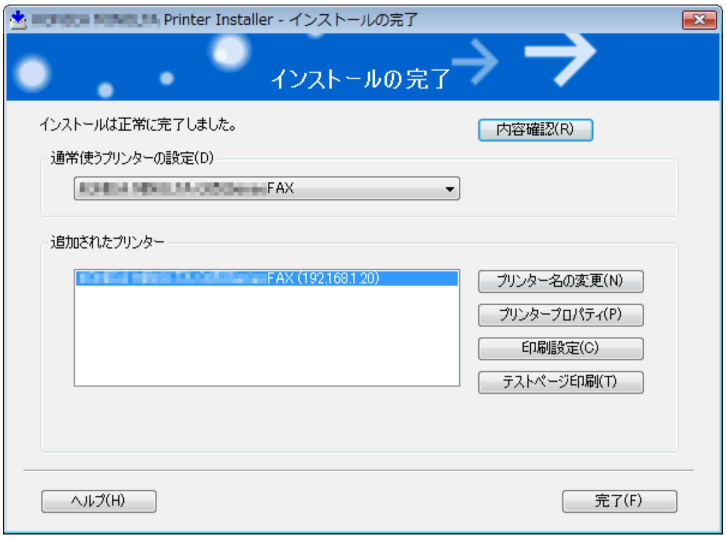
8　「インストール内容確認」画面で［インストール］をクリックします。

→ Windows Vista/Server 2008 で「Windows セキュリティ」の発行元検証に関する画面が表示されるときは、「このドライバソフトウェアをインストールします」をクリックします。

→ Windows 2000/XP/Server 2003 で「Windows ロゴテスト」、「デジタル署名」に関する画面が表示されるときは、［続行］または［はい］をクリックします。

9　「インストールの完了」画面で［完了］をクリックします。

インストールが完了します。



「インストールの完了」画面では、インストール項目の確認や設定変更を行えます。

- ［内容確認］：インストール内容を確認します。
- ［プリンター名の変更］：プリンター名を変更します。
- ［プリンタープロパティ］：ファクスドライバーのプロパティ設定を行います。詳しくは、4-20 ページをごらんください。
- ［印刷設定］：ファクスドライバーの「印刷設定」画面を表示し、各種機能を設定します。詳しくは、4-9 ページをごらんください。
- ［テストページ印刷］：テスト印刷を行います。

3.3 プリンタの追加ウィザードを使ったインストール

ここでは、ネットワーク接続（LPR/Port 9100）でインストールする手順を説明します。

LPR/Port 9100 印刷を利用する場合は、プリンタードライバーをインストールする途中でポートを設定します。

参照
その他のネットワーク接続（SMB、IPP/IPPS、Web サービスプリント）については、「ユーザーズガイド プリンター機能編」をごらんください。

3.3.1 本機の設定

ネットワーク接続の場合は、あらかじめ本機のネットワーク設定が必要です。

本機の TCP/IP 設定

本機の「TCP/IP 設定」で IP アドレスを設定しておきます。

参照
本機の IP アドレスの設定については、「ユーザーズガイド ネットワーク管理者編」をごらんください。

本機の RAW ポート番号設定

Port 9100 印刷を利用する場合は、本機の「TCP/IP 設定」で RAW ポート番号（初期設定では「9100」）を使用可能にしておきます。

参照
本機の RAW ポート番号の設定については、「ユーザーズガイド ネットワーク管理者編」をごらんください。

本機の LPD 設定

LPR 印刷を利用する場合は、本機の「LPD 設定」で LPD 印刷を使用可能に設定しておきます。

参照
本機の「LPD 設定」については、「ユーザーズガイド ネットワーク管理者編」をごらんください。

3.3.2 Windows Vista/Server 2008 の場合

Windows Vista/Server 2008 では、ネットワーク上のプリンターを検索してインストールできます。

参考

- Windows Vista/Server 2008 にインストールするときは、管理者権限が必要です。

参照
インストール途中でプリンターを検索するため、本機をネットワークに接続した状態で電源を ON にしてください。ネットワーク設定については、「ユーザーズガイド ネットワーク管理者編」をごらんください。

1 プリンタードライバーの CD-ROM をコンピューターの CD-ROM ドライブに入れます。

2 ［スタート］をクリックして、「コントロールパネル」をクリックします。

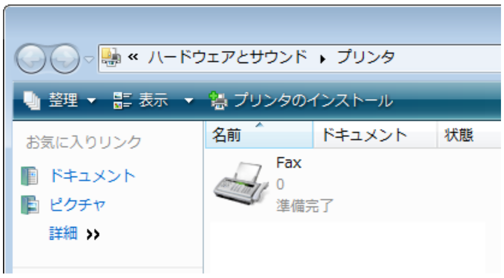
3 「ハードウェアとサウンド」の「プリンタ」をクリックします。

「プリンタ」ウィンドウが開きます。

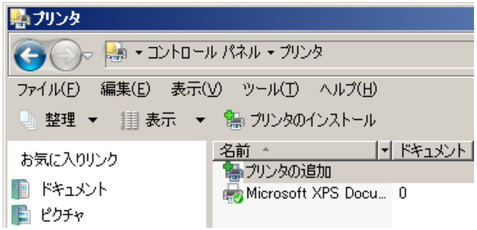
➔「コントロールパネル」がクラシック表示になっている場合は、「プリンタ」をダブルクリックします。

4 ツールバーの「プリンタのインストール」をクリックします。

Windows Vista の場合：

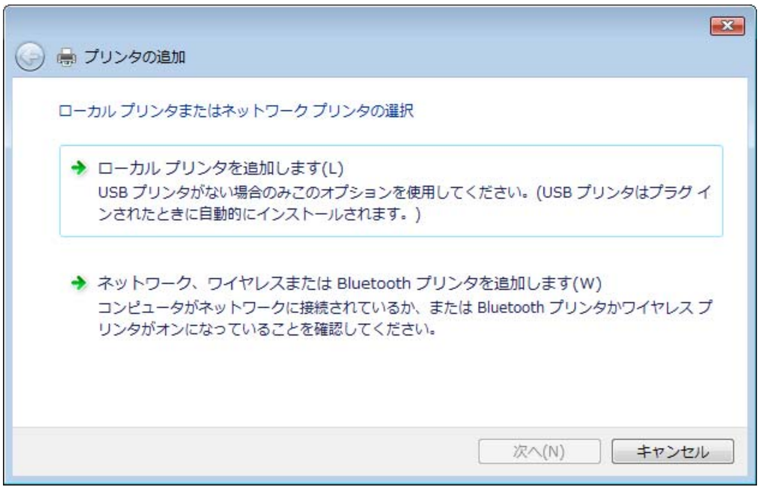


Windows Server 2008 の場合：



「プリンタの追加」ウィザードが表示されます。

5 「ローカルプリンタを追加します」をクリックします。



プリンタポートの選択ダイアログボックスが表示されます。

6 「新しいポートの作成」をクリックし、ポートの種類で「Standard TCP/IP Port」を選択します。

7 ［次へ］をクリックします。

8 「TCP/IP デバイス」を選択し、IP アドレスを入力します。

➔ 本機で LPR と Port 9100 の両方が有効に設定されている場合、プリンタードライバーと本機は LPR で接続されます。

9 ［次へ］をクリックします。

➔ 「ポート情報がさらに必要です」画面が表示される場合は、手順 10 へ進みます。

➔ 「プリンタドライバのインストール」ダイアログボックスが表示される場合は、手順 13 へ進みます。

10 「カスタム」をチェックし、［設定］をクリックします。

11 ポートに合わせて設定を変更し、［OK］をクリックします。

➔ LPR 接続の場合は、「LPR」をチェックし、「キュー名」ボックスに「Print」と入力します。
➔ 大文字、小文字も正確に入力する必要があります。
➔ Port 9100 の場合は、「Raw」をチェックし、「ポート番号」ボックスに RAW ポート番号（初期設定では「9100」）を入力します。

12 ［次へ］をクリックします。

「プリンタドライバのインストール」ダイアログボックスが表示されます。

13 ［ディスク使用］をクリックします。

14 ［参照］をクリックします。

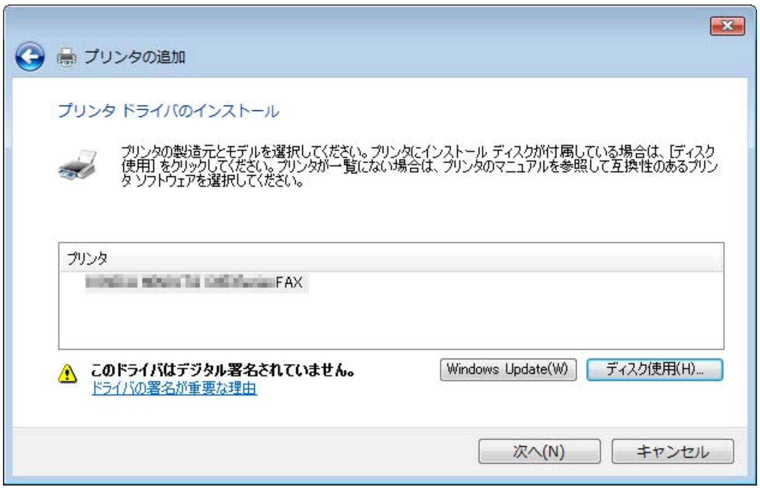
15 CD-ROM 内の目的のファクスドライバーフォルダーを指定し、［開く］をクリックします。

➔ 指定するフォルダーは、使用するプリンタードライバー、OS、言語に応じて選択してください。

16 ［OK］をクリックします。

「プリンタ」リストが表示されます。

17 ［次へ］をクリックします。



18 画面の指示にしたがって操作します。

➔ 「ユーザーアカウント制御」に関する画面が表示されるときは、［続行］をクリックします。
➔ 「Windows セキュリティ」の発行元検証に関する画面が表示されるときは、「このドライバソフトウェアをインストールします」をクリックします。

19 ［完了］をクリックします。

20 インストール終了後、インストールしたプリンターアイコンが「プリンタ」ウィンドウに表示されていることを確認します。

21 CD-ROM を CD-ROM ドライブから取り出します。

これで、ファクスドライバーのインストールが完了しました。

参照

本機のネットワーク設定で、「RAW ポート番号」と「LPD 設定」の両方が有効になっている場合は、有効となっているポートを確認し、必要に応じて変更してください。詳しくは、「ユーザーズガイド プリンター機能編」をごらんください。

3.3.3 Windows XP/Server 2003 の場合

参考

- Windows XP/Server 2003 にインストールするときは、管理者権限が必要です。

1 プリンタードライバーの CD-ROM をコンピューターの CD-ROM ドライブに入れます。

2 ［スタート］をクリックして、「プリンタと FAX」をクリックします。

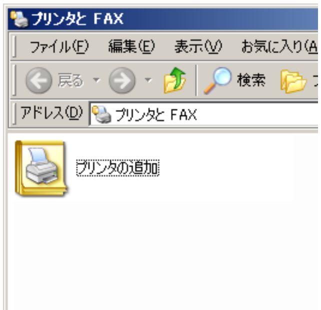
➔ ［スタート］メニューに「プリンタと FAX」が表示されていない場合は、［スタート］メニューから「コントロールパネル」を開き、「プリンタとその他のハードウェア」を選び、さらに「プリンタと FAX」を選びます。

3 Windows XP の場合は、「プリンタのタスク」メニューから「プリンタのインストール」をクリックします。
Windows Server 2003 の場合は、「プリンタの追加」をダブルクリックします。

Windows XP の場合：



Windows Server 2003 の場合：

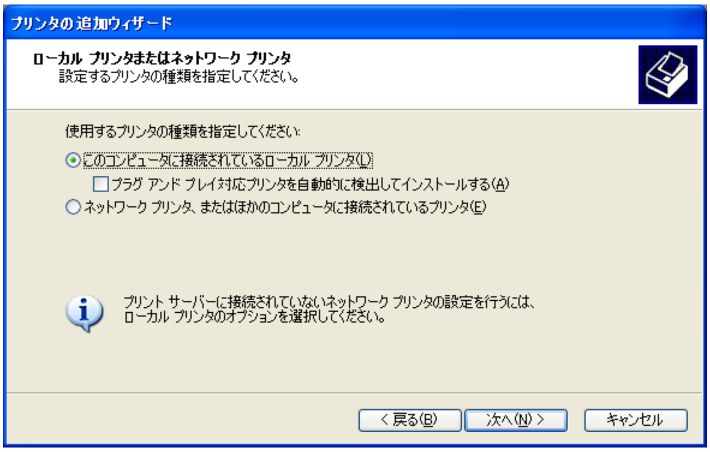


「プリンタの追加ウィザード」が表示されます。

4 ［次へ］をクリックします。

5 「このコンピュータに接続されているローカルプリンタ」を選択し、［次へ］をクリックします。

➔「プラグ アンド プレイ対応プリンタを自動的に検出してインストールする」のチェックは外しておきます。



6 「新しいポートの作成」をクリックし、ポートの種類で「Standard TCP/IP Port」を選択します。



7 ［次へ］をクリックします。

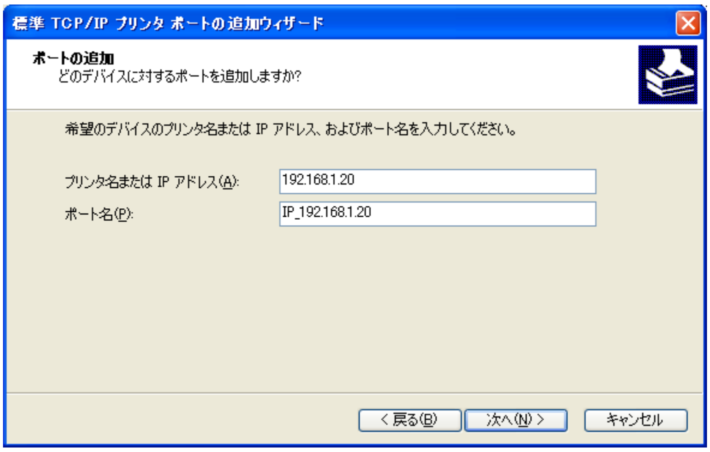
「標準 TCP/IP プリンタポートの追加ウィザード」が起動します。

8 ［次へ］をクリックします。

9 「プリンタ名または IP アドレス」ボックスに本機の IP アドレスを入力し、［次へ］をクリックします。

➔「ポート情報がさらに必要です」画面が表示される場合は、手順 10 へ進みます。

➔「完了」画面が表示される場合は、手順 13 へ進みます。



10 「カスタム」をチェックし、［設定］をクリックします。

11 ポートに合わせて設定を変更し、［OK］をクリックします。

➔ LPR 接続の場合は、「LPR」をチェックし、「キュー名」ボックスに「Print」と入力します。
➔ 大文字、小文字も正確に入力する必要があります。
➔ Port 9100 の場合は、「Raw」をチェックし、「ポート番号」ボックスに RAW ポート番号（初期設定では「9100」）を入力します。

12 ［次へ］をクリックします。

13 ［完了］をクリックします。
「プリンタの追加ウィザード」が表示されます。

14 ［ディスク使用］をクリックします。

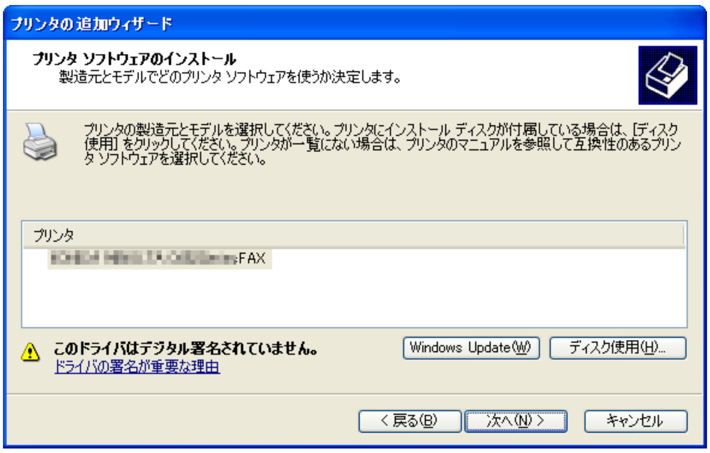
15 ［参照］をクリックします。

16 CD-ROM 内の目的のファクスドライバーフォルダーを指定し、［開く］をクリックします。

➔ 指定するフォルダーは、使用するプリンタードライバー、OS、言語に応じて選択してください。

17 ［OK］をクリックします。
「プリンタ」リストが表示されます。

18 ［次へ］をクリックします。



19 画面の指示にしたがって操作します。

➔ 「Windows ロゴテスト」、「デジタル署名」に関する画面が表示されるときは、［続行］をクリックします。

➔ 本機のネットワーク設定で、「RAW ポート番号」と「LPD 設定」の両方が有効になっている場合は、有効となっているポートを確認し、必要に応じて変更してください。詳しくは、「ユーザーズガイド プリンター機能編」をごらんください。

20 インストール終了後、インストールしたプリンターアイコンが「プリンタと FAX」ウィンドウに表示されていることを確認します。

21 CD-ROM を CD-ROM ドライブから取り出します。

これで、ファクスドライバーのインストールが完了しました。

3.3.4 Windows 2000/NT 4.0 の場合

参考

- Windows 2000/NT 4.0 にインストールするときは、管理者権限が必要です。

1 プリンタードライバーの CD-ROM をコンピューターの CD-ROM ドライブに入れます。

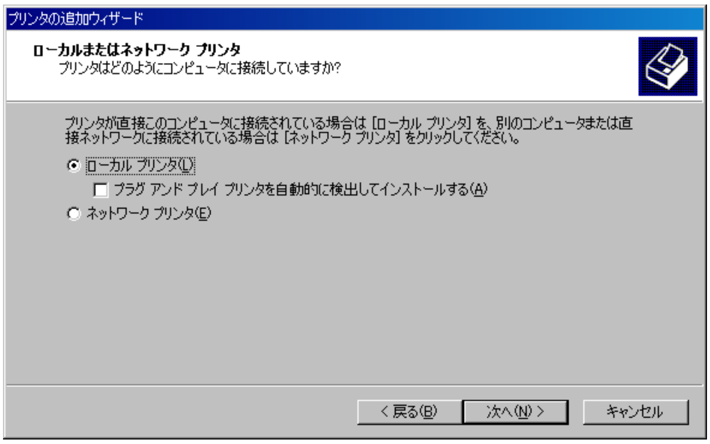
2 ［スタート］をクリックして、「設定」－「プリンタ」をクリックします。

3 「プリンタの追加」アイコンをダブルクリックします。

「プリンタの追加ウィザード」が表示されます。

4 画面の指示にしたがって操作します。

5 接続方法を指定する画面で、「ローカルプリンタ」を選択します。



6 ［次へ］をクリックします。

ポートを指定する画面が表示されます。

7 「新しいポートの作成」をクリックし、ポートの種類で「Standard TCP/IP Port」を選択します。

➔ Windows NT 4.0 の場合は、「利用可能なプリンタポート」リスト内で「LPR Port」を選択して［新しいポート］を作成します。詳しくは、「ユーザーズガイド プリンター機能編」をごらんください。

8 ［次へ］をクリックします。

「標準 TCP/IP プリンタポートの追加ウィザード」が起動します。

9 ［次へ］をクリックします。

10 「プリンタ名または IP アドレス」ボックスに本機の IP アドレスを入力し、［次へ］をクリックします。

➔「ポート情報がさらに必要です」画面が表示される場合は、手順 11 へ進みます。
➔「完了」画面が表示される場合は、手順 14 へ進みます。

11 「カスタム」をチェックし、［設定］をクリックします。

12 ポートに合わせて設定を変更し、［OK］をクリックします。

➔ LPR 接続の場合は、「LPR」をチェックし、「キュー名」ボックスに「Print」と入力します。
➔ 大文字、小文字も正確に入力する必要があります。
➔ Port 9100 の場合は、「Raw」をチェックし、「ポート番号」ボックスに RAW ポート番号（初期設定では「9100」）を入力します。

13 ［次へ］をクリックします。

14 ［完了］をクリックします。

「プリンタの追加ウィザード」が表示されます。

15 ［ディスク使用］をクリックします。

16 ［参照］をクリックします。

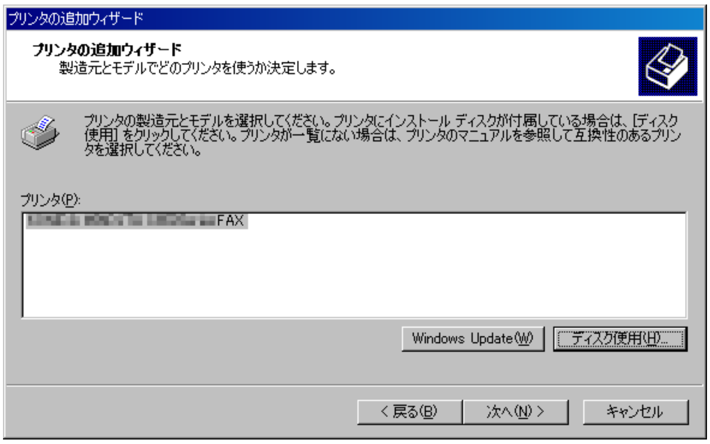
17 CD-ROM 内の目的のファクスドライバーフォルダーを指定し、［開く］をクリックします。

➔ 指定するフォルダーは、使用するプリンタードライバー、OS、言語に応じて選択してください。

18 ［OK］をクリックします。

「プリンタ」リストが表示されます。

19 ［次へ］をクリックします。



20 画面の指示にしたがって操作します。

➔「デジタル署名」に関する画面が表示されるときは、［はい］をクリックします。

21 インストール終了後、インストールしたプリンターアイコンが「プリンタ」ウィンドウに表示されていることを確認します。

22 CD-ROM を CD-ROM ドライブから取り出します。

これで、ファクスドライバーのインストールが完了しました。

3.4　プラグアンドプレイを使ったインストール

3.4.1　Windows Vista/Server 2008 の場合

1 本機とコンピューターを USB ケーブルで接続後、コンピューターを起動します。

重要
コンピューターの起動中は、ケーブルの抜き差しを行わないでください。

2 本機の主電源を入れます。

「新しいハードウェアが見つかりました」ダイアログが表示されます。

➔「新しいハードウェア」ダイアログが表示されない場合は、本機の電源を OFF/ON してください。電源を OFF/ON するときには、OFF にしたあと、約 10 秒たってから ON にしてください。すぐに ON にすると正常に機能しないことがあります。

3「ドライバソフトウェアを検索してインストールします（推奨）」をクリックします。

ディスク（CD-ROM）を要求するダイアログが表示されます。

➔ ディスク（CD-ROM）がない場合は、「ディスクはありません。他の方法を試します」をクリックします。次の画面で「コンピュータを参照してドライバソフトウェアを検索します（上級）」を選択して目的のファクスドライバーのフォルダーを指定してください。

➔ 指定するフォルダーは、使用するプリンタードライバー、OS、言語に応じて選択してください。

4 プリンタードライバーの CD-ROM をコンピューターの CD-ROM ドライブに入れます。

ディスク内の情報が検索され、本機に対応するソフトウェアの一覧が表示されます。

5 目的のファクスドライバー名を指定し、[次へ] をクリックします。

6 画面の指示にしたがって操作します。

➔「ユーザーアカウント制御」に関する画面が表示されるときは、[続行] をクリックします。

➔「Windows セキュリティ」の発行元検証に関する画面が表示されるときは、「このドライバソフトウェアをインストールします」をクリックします。

7 インストールが終了したら [閉じる] をクリックします。

8 インストール終了後、インストールしたプリンターアイコンが「プリンタ」ウィンドウに表示されていることを確認します。

9 CD-ROM を CD-ROM ドライブから取り出します。

これで、ファクスドライバーのインストールが完了しました。

3.4.2　Windows XP/Server 2003 の場合

1 本機とコンピューターを USB ケーブルで接続後、コンピューターを起動します。

重要
コンピューターの起動中は、ケーブルの抜き差しを行わないでください。

2 プリンタードライバーの CD-ROM をコンピューターの CD-ROM ドライブに入れます。

3 本機の主電源を入れます。

「新しいハードウェアの検出ウィザード」ダイアログが表示されます。

➔「新しいハードウェアの検出ウィザード」ダイアログが表示されない場合は、本体の電源を OFF/ON してください。電源を OFF/ON するときには、OFF にしたあと、約 10 秒たってから ON にしてください。すぐに ON にすると正常に機能しないことがあります。

4「一覧または特定の場所からインストールする（詳細）」を選択し、[次へ] をクリックします。

➔「Windows アップデートに接続する」画面が表示された場合は、「いいえ」を選択します。

5「次の場所で最適のドライバを検索する」から「次の場所を含める」を選択し、[参照] をクリックします。

6 CD-ROM 内の目的のファクスドライバーフォルダーを指定し、[開く]をクリックします。

➔ 指定するフォルダーは、使用するプリンタードライバー、OS、言語に応じて選択してください。

7 [次へ]をクリックし、画面の指示にしたがって操作します。

➔「Windows ロゴテスト」、「デジタル署名」に関する画面が表示されるときは、[続行]または[はい]をクリックします。

8 [完了]をクリックします。

9 インストール終了後、インストールしたプリンターアイコンが「プリンタと FAX」ウィンドウに表示されていることを確認します。

10 CD-ROM を CD-ROM ドライブから取り出します。

これで、ファクスドライバーのインストールが完了しました。

3.4.3 Windows 2000 の場合

1 本機とコンピューターを USB ケーブルで接続後、コンピューターを起動します。

重要
コンピューターの起動中には、ケーブルの抜き差しを行わないでください。

2 プリンタードライバーの CD-ROM をコンピューターの CD-ROM ドライブに入れます。

3 本機の主電源を入れます。

「新しいハードウェアの検出ウィザード」が表示されます。

4 「デバイスに最適なドライバを検索する(推奨)」を選択し、[次へ]をクリックします。

5 「場所を指定」を選択し、[次へ]をクリックします。

6 [参照]をクリックします。

7 CD-ROM 内の目的のファクスドライバーフォルダーを指定し、[開く]をクリックします。

➔ 指定するフォルダーは、使用するプリンタードライバー、OS、言語に応じて選択してください。

8 [OK]をクリックし、画面の指示にしたがって操作します。

➔「デジタル署名」に関する画面が表示されるときは、[はい]をクリックします。

9 [完了]をクリックします。

10 インストール終了後、インストールしたプリンターアイコンが「プリンタ」ウィンドウに表示されていることを確認します。

11 CD-ROM を CD-ROM ドライブから取り出します。

これで、ファクスドライバーのインストールが完了しました。

3.5 ファクスドライバーをアンインストールする場合

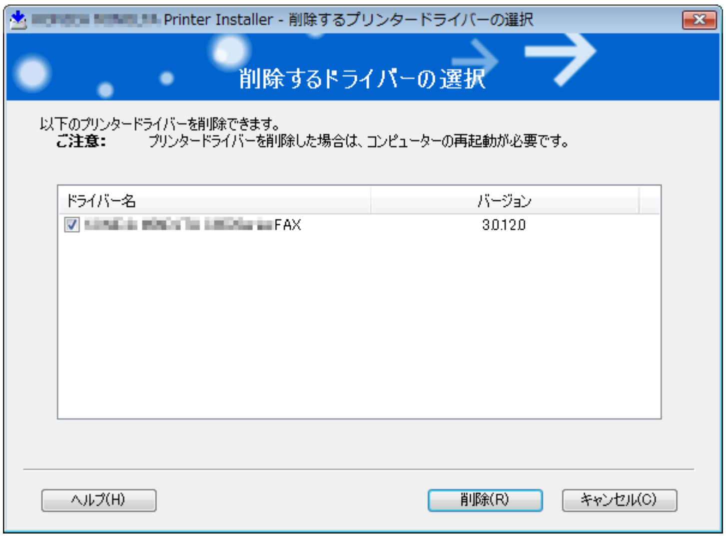
ファクスドライバーを再インストールするときなど、プリンタードライバーを削除する必要がある場合は、以下の手順でドライバーを削除してください。

3.5.1 ファクスドライバーの削除機能がある場合

ファクスドライバーをインストーラーでインストールした場合は、ファクスドライバーの削除機能が組み込まれています。

1 ［スタート］をクリックし、「すべてのプログラム」（または「プログラム」）－「xxxxx（グループ名）」－「xxxxx（製品名）」－「プリンタードライバーの削除」をクリックします。

2 削除するコンポーネントを選択し、［削除］をクリックします。以降は、表示される画面にしたがって操作してください。



3 再起動する画面が表示されたら［OK］をクリックし、再起動します。

3.5.2 ファクスドライバーの削除機能がない場合

インストーラーを使わずにファクスドライバーをインストールした場合は、ファクスドライバーの削除機能が組み込まれません。

1 「プリンタ」（Windows XP/Server 2003 の場合は「プリンタと FAX」）ウィンドウを開きます。

2 削除したいプリンターのアイコンを選択します。

3 コンピューターの［Delete］キーを押し、ファクスドライバーを削除します。

4 以降は、画面の指示にしたがって操作します。

削除が終了すると「プリンタ」（Windows XP/Server 2003 の場合は「プリンタと FAX」）ウィンドウからアイコンが消えます。
Windows NT 4.0 の場合は、これでアンインストール完了です。手順 10 に進みます。
Windows 2000/XP/Vista/Server 2003/Server 2008 の場合は、引き続きサーバーのプロパティでファクスドライバーを削除します。

5 「サーバーのプロパティ」を開きます。

➔ Windows Vista/Server 2008 の場合は、「プリンタ」ウィンドウの何もない部分を右クリックし、「管理者として実行」－「サーバーのプロパティ」をクリックします。
➔ Windows 2000/XP/Server 2003 の場合は、「ファイル」メニューをクリックし、「サーバーのプロパティ」をクリックします。
➔ 「ユーザーアカウント制御」に関する画面が表示されるときは、［続行］をクリックします。

6 「ドライバ」タブをクリックします。

7 「インストールされたプリンタドライバ」一覧から、削除したいドライバーを選択し、［削除］をクリックします。

➔ Windows Vista/Server 2008 の場合は、手順 8 に進みます。

➔ Windows 2000/XP/Server 2003 の場合は、手順 9 に進みます。

8 削除の対象を確認する画面で「ドライバとドライバパッケージを削除する」を選択して、［OK］をクリックします。

9 削除を確認する画面で［はい］をクリックします。

➔ Windows Vista/Server 2008 の場合は、さらに削除を確認する画面が表示されますので［削除］をクリックします。

10 開いている画面を閉じ、コンピューターを再起動します。

➔ 必ず再起動してください。

これでファクスドライバーの削除は完了です。

参考

- 先の手順でファクスドライバーを削除しても、機種情報ファイルはコンピューターに残ります。このため同一バージョンのファクスドライバーを再インストールする場合、ドライバーが書き替えできない場合があります。この場合以下のファイルも削除してください。
  - 「C:￥WINDOWS￥system32￥spool￥drivers￥w32x86」フォルダー（x64 のシステムの場合は、「C:￥WINDOWS￥system32￥spool￥drivers￥x64」フォルダー、Windows 2000 の場合は、「C:￥WINNT￥system32￥spool￥drivers￥w32x86」フォルダー）を確認し、該当機種のフォルダー（Windows 2000 の場合は、下の「oem*.inf」に記述されているファイル）があれば削除します。ただし、ファクスドライバーのほかに PCL ドライバーや PostScript ドライバー、XPS ドライバーがインストールされている場合は、すべての機種情報が削除されます。ほかのドライバーを残す場合は削除しないでください。
  - 「C:￥WINDOWS￥inf」フォルダー（Windows 2000 の場合は、「C:￥WINNT￥inf」フォルダー）にある「oem*.inf」と「oem*.PNF」を削除します（ファイル名の「*」は番号を示し、番号はコンピューターの環境により異なります）。
    削除する前に inf ファイルを開いて、最後の数行に記述してある機種名を確認し、該当機種のファイルであることを確認してください。PNF ファイルは inf ファイルと同じ番号となります。
  - Windows Vista/Server 2008 で「ドライバとドライバパッケージを削除する」で操作した場合は、この作業は不要です。

4 ファクスドライバーの設定

4 ファクスドライバーの設定

ファクスドライバーの使い方について説明します。

4.1 ファクスを送信する

4.1.1 送信操作

参考

- ファクス機能を利用するには、本機にオプションの FAX キットを装着する必要があります。

参照

ファクス機能についての詳細は、「ユーザーズガイド ネットワークスキャン／ファクス／ネットワークファクス機能編」をごらんください。

1 アプリケーションソフトウェアで送信したいデータを作成します。

2 [ファイル] メニューから「印刷」を選択します。

3 「プリンタ名」でインストールした「xxxxxxx FAX」を選択します。

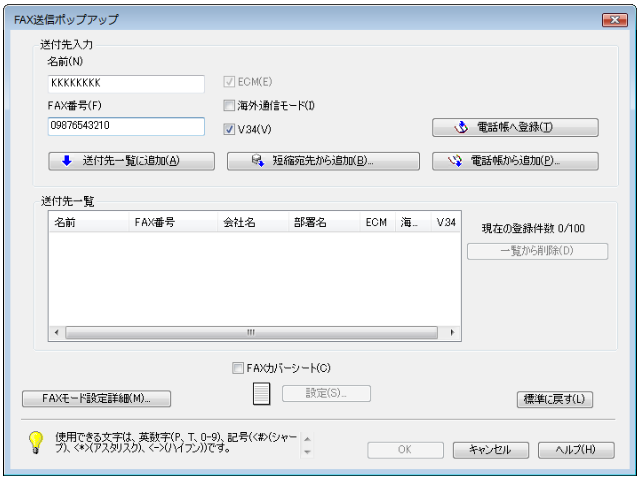
4 必要に応じて [プロパティ] (または [詳細設定]) をクリックし、ファクスドライバーの設定を変更します。

➔ 「印刷」画面で [プロパティ] (または [詳細設定]) をクリックすると、ファクスドライバーの「印刷設定」画面が表示され、各種機能を設定できます。詳しくは、4-9 ページをごらんください。

5 [印刷] をクリックします。

「FAX 送信ポップアップ」が表示されます。

6 「名前」と「FAX 番号」を入力します。



➔ 「名前」は 80 文字まで入力できます。

➔ 「FAX 番号」は、0 ～ 9 までの数字と、ハイフン (-)、#、*、P、T が半角 38 文字まで入力できます。海外に送信する場合は、番号の最初に国番号を入力してください。

➔ 通信モードは必要に応じて変更してください。
ECM：ECM（エラー訂正モード）を設定します。V.34 が「ON」の場合は「OFF」にできません。
海外通信モード：海外通信時に速度を遅くして送信します。海外への通信がエラーになる場合は「ON」にしてください。
V.34：スーパー G3 のファクス送信モードを設定します。通常は「ON」で使用し、相手先のモードで通信できない場合のみ「OFF」にしてください。

➔ 本機の短縮宛先に登録されているファクス番号は［短縮宛先から追加］で指定できます。詳しくは、4-4 ページをごらんください。

➔ 電話帳に登録されているファクス番号は［電話帳から追加］で指定できます。詳しくは、4-3 ページをごらんください。

➔ 入力した名前と FAX 番号は、［電話帳へ登録］をクリックすると電話帳の「簡易登録」フォルダーに登録できます。

7 ［送付先一覧に追加］をクリックします。

➔ 送付先が複数の場合は、手順 6、7 を繰り返します。100 件まで登録できます。

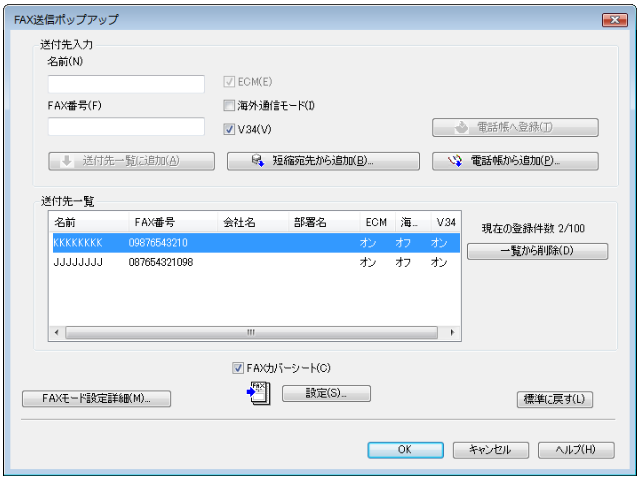
➔ 登録した送付先を取り消したいときは、［一覧から削除］で削除できます。

8 必要に応じて［FAX モード設定詳細］、「FAX カバーシート」を設定します。

➔ 詳しくは、4-6 ページをごらんください。

9 ［OK］をクリックします。

ファクスデータが本機経由で送信されます。



4.1.2　送信先を電話帳から選択する

参照

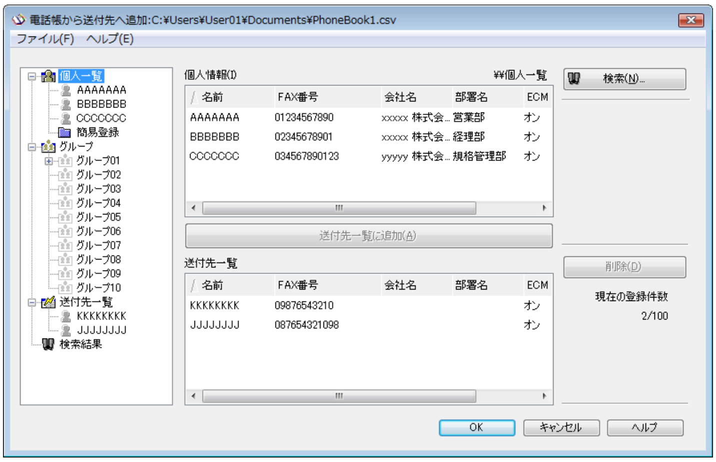
電話帳を利用する場合は、あらかじめ送信先の名前やファクス番号を電話帳に登録しておいてください。詳しくは、4-22 ページをごらんください。

1 送信時に、「FAX 送信ポップアップ」で［電話帳から追加］をクリックします。

➔ 「FAX 送信ポップアップ」は「送信操作」（手順 1 ～ 5）で開きます。詳しくは、4-2 ページをごらんください。

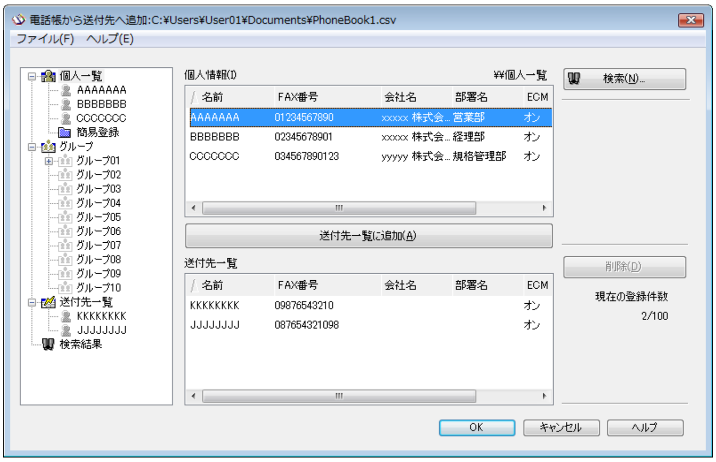
2 電話帳左側のリストから「個人一覧」や「グループ」を選択し、目的の送信先を個人情報一覧に表示させます。

➔［検索］をクリックすると条件を設定して検索できます。



3　「個人情報」一覧から送信したい名前を選択し、［送付先一覧に追加］をクリックします。

➔ 送付先が複数の場合は、同様に追加します。100 件まで登録できます。
➔「送付先一覧」に追加した送付先を取り消したいときは、削除したい名前を選択し、［削除］をクリックすると削除できます。
➔ 送付先をグループに登録してある場合は、グループ名を選択した状態で［送付先一覧に追加］をクリックすると、全メンバーが「送付先一覧」に追加されます（同報送信）。



4　［OK］をクリックします。

指定した名前が送付先一覧に追加され、「FAX 送信ポップアップ」にもどります。

4.1.3　送信先を本機の短縮宛先から選択する

参照

本機の短縮宛先から選択する場合は、あらかじめ送信先の名前やファクス番号を本機の短縮宛先に登録しておいてください。詳しくは、「ユーザーズガイド ネットワークスキャン／ファクス／ネットワークファクス機能編」をごらんください。

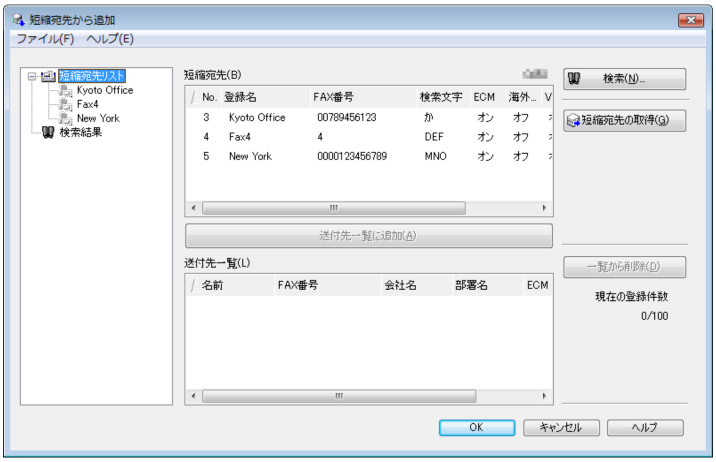
✔ 本機の短縮宛先から送信先を選択する機能は、本機とコンピューターが通信可能な状態で接続されていないと利用できません。

1　送信時に、「FAX 送信ポップアップ」で［短縮宛先から追加］をクリックします。

➔「FAX 送信ポップアップ」は「送信操作」（手順 1 〜 5）で開きます。詳しくは、4-2 ページをごらんください。

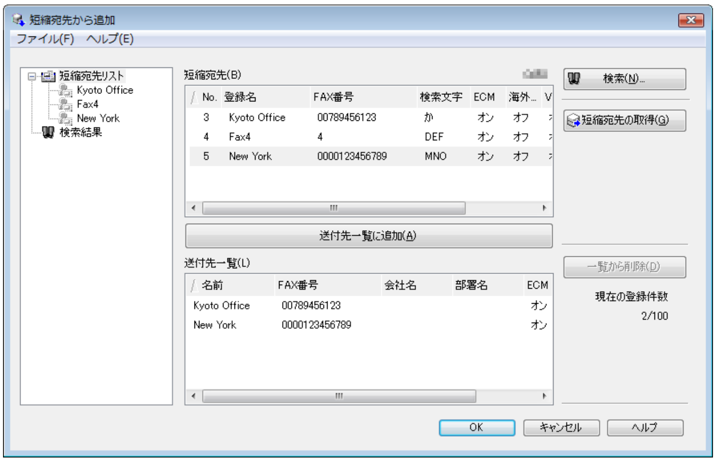
2　画面左側のリストから「短縮宛先リスト」を選択し、目的の送信先を「短縮宛先」一覧に表示させます。

➔［短縮宛先の取得］をクリックすると本機と通信し、短縮宛先の情報を読み取ります。
➔［検索］をクリックすると条件を設定して検索できます。



3 「短縮宛先」一覧から送信したい名前を選択し、［送付先一覧に追加］をクリックします。

➔ 送付先が複数の場合は、同様に追加します。100 件まで登録できます。
➔「送付先一覧」に追加した送付先を取り消したいときは、削除したい名前を選択し、［一覧から削除］をクリックすると削除できます。

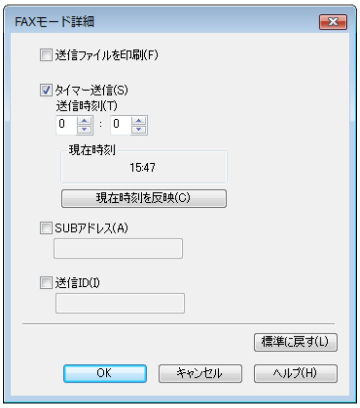


4 ［OK］をクリックします。

指定した名前が送付先一覧に追加され、「FAX 送信ポップアップ」にもどります。

4.1.4　送信条件を設定する

「FAX モード詳細」は、送信時に「FAX 送信ポップアップ」で［FAX モード設定詳細］をクリックすると表示され、送付条件を設定します。



送信ファイルを印刷	ファクス送信したあとに原稿を印刷します。
タイマー送信	送信する時刻を指定します。［現在時刻を反映］をクリックすると、コンピューターに設定されている現在時刻が「送信時刻」に表示されます。
SUB アドレス	F コードを使用した親展通信を行う場合に SUB アドレスを指定します。
送信 ID	F コードを使用した親展通信を行う場合に送信 ID を指定します。

参考

- タイマー送信を行うときは、コンピューターに設定されている時刻と本機に設定されている時刻が一致していることを確認してください。本機の現在時刻よりも送信時刻が前の場合は、翌日になってから送信されます。
- F コードを使用して他機種のファクスに親展通信を行う場合は「SUB アドレス」と「送信 ID」を入力します。「SUB アドレス」は 0 ～ 9 までの半角数字で 20 文字まで入力できます。「送信 ID」は 0 ～ 9 までの半角数字と、#、* で、20 文字まで入力できます。SUB アドレスと送信 ID の詳細は、「ユーザーズガイド ネットワークスキャン／ファクス／ネットワークファクス機能編」をごらんください。

4.1.5　FAX カバーシートを作成する

送信時に「FAX 送信ポップアップ」で「FAX カバーシート」を「ON」にすると表紙を付けて送信できます。カバーシートの内容は［設定］をクリックして表示される「FAX カバーシート設定」ダイアログボックスで編集できます。

「FAX カバーシート設定」ダイアログボックスでは、「基本」、「送付先」、「発信者」、「イメージ」の各設定をそれぞれの画面に切換えて変更できます。

参考

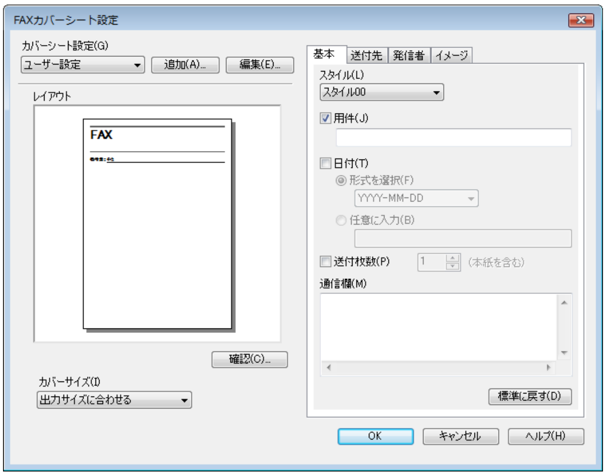
- Windows Vista x64/Server 2008 x64 の場合、「FAX 送信ポップアップ」から「FAX カバーシート」が指定できません。あらかじめ、ファクスドライバーの FAX タブで設定してください。詳しくは、4-12 ページをごらんください。

1 「FAX 送信ポップアップ」で「FAX カバーシート」のチェックボックスを「ON」にします。

2 ［設定］をクリックします。

「FAX カバーシート設定」ダイアログボックスが表示されます。

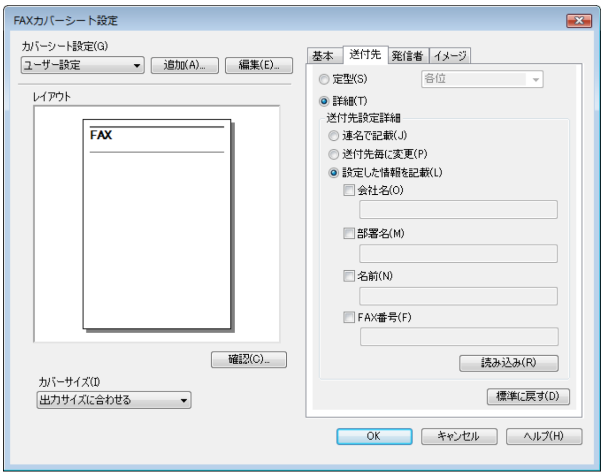
3 「カバーサイズ」でカバーシートのサイズを設定します。



4 「基本」タブで書式や用件などを設定します。

スタイル	カバーシートの書式デザインを選択します。
用件	送信するファクスの件名を入力します。64 文字まで入力できます。
日付	日付を指定します。形式を選択するか、任意に入力します。入力する場合は 20 文字まで入力できます。
送付枚数	送付枚数を指定します。
通信欄	通信欄に表示する文章を入力します。640 文字まで入力でき、改行は 2 文字分に換算されます。

5 「送付先」タブで送付先の表記を設定します。



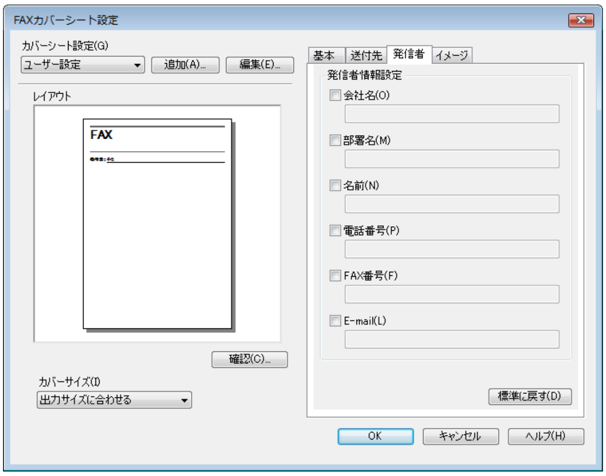
定型	定型文を指定します。
詳細	下段の「送付先設定詳細」で詳細に設定します。
連名で記載	送付先を連名で記載します。記載内容は、「FAX 送信ポップアップ」の送付先一覧の内容です。
送付先毎に変更	送付先ごとに記載を切換えます。記載内容は、「FAX 送信ポップアップ」の送付先一覧の内容です。

設定した情報を記載	直下の「会社名」「部署名」「名前」「FAX 番号」で指定した内容を表記します。 各項目 80 文字まで入力できます。
読み込み	情報ボックスに 1 件目の送付先の内容を読み込みます。

→「送付先毎に変更」で送付状を個別に作成できるのは 40 件までです。
→「送付先毎に変更」を指定した場合でも、「レイアウト」には、1 件目の送付先が見本として表示されます。
→「連名で記載」および「送付先毎に変更」に設定した場合、登録した名前が記載されますが、敬称は付加されません。
→「FAX 送信ポップアップ」で送付先が設定されていない場合は、「設定した情報を記載」は選択できません。また、ファクスドライバーの「FAX」タブからも選択できません。

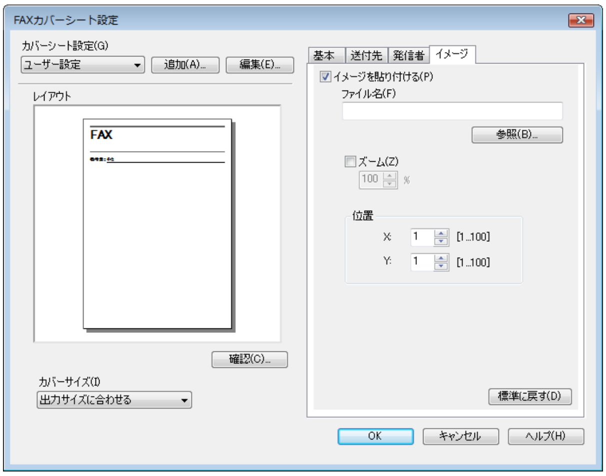
6　「発信者」タブで発信者の表記を設定します。

→ 記載する項目のチェックボックスを「ON」にして内容を入力します。
→ 各項目 80 文字まで入力できます。



7　会社のロゴマークや地図などの画像を送付状に配置する場合は、「イメージ」タブで画像ファイルを指定します。

→ サイズはズームで、位置は「X」「Y」の数値で指定します。
→ 指定できるファイル形式は BMP です。



8　指定内容を確認します。

［確認］をクリックするとレイアウトイメージを拡大して確認できます。

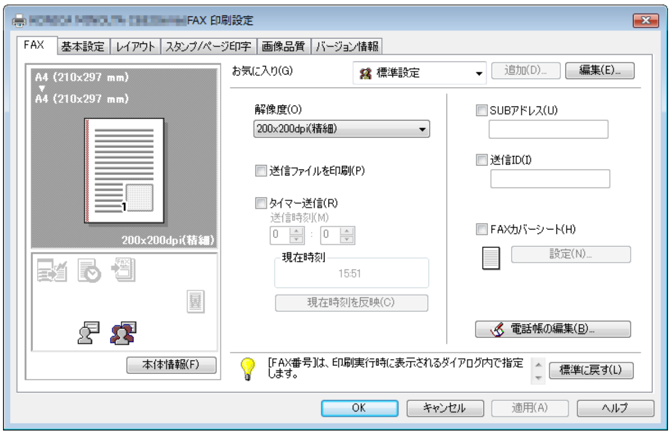
→［追加］をクリックすると、カバーシートの設定を保存して、次から「カバーシート設定」リストで呼び出せます。

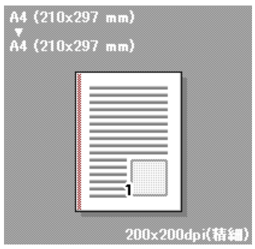
9　［OK］をクリックします。

4.2 設定項目

4.2.1 共通項目

ここでは、ファクスドライバー画面の各タブで共通の設定やボタンについて説明します。



ボタン名	機能
OK	このボタンをクリックすると、変更した設定を有効にして、設定画面を閉じます。
キャンセル	このボタンをクリックすると、変更した設定を無効（キャンセル）にして、設定画面を閉じます。
ヘルプ	このボタンをクリックすると、表示されている画面の各項目についてのヘルプが表示されます。
追加（お気に入り）	現在の設定を登録し、あとでその設定を呼び出すことができます。
編集（お気に入り）	保存してある設定を変更します。
標準に戻す	このボタンをクリックすると、インストール直後の設定内容にもどします。
ビュー	現在の設定でのページレイアウトのサンプルが表示され、送信結果のイメージを確認できます。  ビューの下段に表示されるアイコンは、設定されている機能を確認できます。 ：「送信ファイルを印刷」が ON のときに表示され、OFF のときにグレーアウトします。 ：「タイマー送信」が ON のときに表示され、OFF のときにグレーアウトします。 ：「FAX カバーシート」が ON のときに表示され、OFF のときにグレーアウトします。 ：「ウォーターマーク」が ON のときに表示され、OFF のときにグレーアウトします。 ：「ユーザー認証」が設定されているときに表示され、なしのときにグレーアウトします。 ：「部門管理」がありのときに表示され、なしのときにグレーアウトします。

ボタン名	機能
本体情報	Web Connection を起動し、本体情報を確認できます。本機と通信可能な状態で有効です。

参照
装着されているオプションを有効にするには、「装置オプション」の設定が必要です。詳しくは、4-20 ページをごらんください。

4.2.2 FAX タブ

項目名	機能
解像度	ファクスの解像度を設定します。
送信ファイルを印刷	ファクス送信したあとに原稿を印刷します。
タイマー送信	送信する時刻を指定します。[現在時刻を反映] をクリックすると、コンピューターに設定されている現在時刻が「送信時刻」に表示されます。
SUB アドレス	F コードを使用した親展通信を行う場合に SUB アドレスを指定します。
送信 ID	F コードを使用した親展通信を行う場合に送信 ID を指定します。
FAX カバーシート	ファクスのカバーシートを設定します。
電話帳の編集	電話帳を編集します。

4.2.3 基本設定タブ

項目名	機能
原稿の向き	送信する原稿の用紙方向を設定します。
原稿サイズ	送信する原稿の用紙サイズを設定します。
用紙サイズ	送信する用紙サイズを設定します。原稿サイズと異なる場合は、自動的に拡大、縮小されます。
ズーム	拡大・縮小率を設定します。
ユーザー認証 / 部門管理設定	本機で「ユーザー認証」している場合のユーザー名/パスワード、本機で「部門管理」している場合の部門名/パスワードを設定します。

4.2.4 レイアウトタブ

項目名	機能
ページ割付	複数ページの文書を 1 枚の用紙に割付ける、または 1 枚の原稿を複数の用紙に分割して送信します。[ページ割付詳細] で詳細が設定できます。
白紙抑制	データに白ページがある場合、白ページを送信しません。

4.2.5 スタンプ / ページ印字タブ

項目名	機能
ウォーターマーク	文書にウォーターマーク（文字スタンプ）を重ね合わせて送信します。[編集] でウォーターマークの作成、変更、削除ができます。

4.2.6 画像品質タブ

項目名	機能
フォント設定	コンピューターから本機にダウンロードするフォントをビットマップかアウトラインかで選択します。また、本機から、ファクス送信するときに、TrueType をプリンターフォントに置き換えるかを設定します。 送信先で文字化けが発生する場合は、ダウンロードフォントをビットマップ、プリンターフォントを使用しない設定にすることをおすすめします。

4.2.7 装置情報タブ

項目名	機能
装置オプション	本機に装着されているオプションやユーザー認証 / 部門管理の状態を設定します。各項目の状態は「設定値の変更」で設定します。
装置情報取得	本機と通信し、オプション装着の状態を読み取ります。
取得設定	装置情報取得を実行する接続先などの条件を設定します。
暗号化ワード	本機との通信で暗号化ワードがユーザー定義されている場合に入力します。

参考

- 「装置情報」タブを表示させる場合は、インストールした「xxxxxxx FAX」のアイコンを右クリックして「プロパティ」をクリックします。
- ［装置情報取得］の機能は、本機と通信可能な状態で接続されていないと利用できません。また、［装置情報取得］を利用するときは、本機の管理者設定で［システム連携］－［OpenAPI 設定］－［認証］を「使用しない」にしてください。詳しくは、「ユーザーズガイド プリンター機能編」をごらんください。

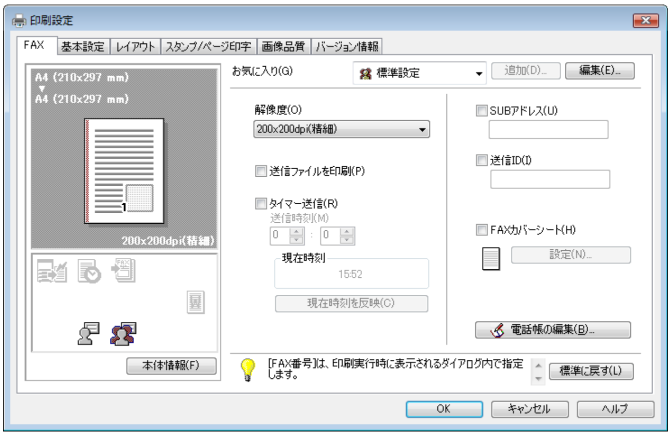
4.2.8 初期設定タブ

項目名	機能
禁則発生時に確認メッセージを表示する	プリンタードライバーで、同時に設定できない機能を有効にした場合にメッセージを表示します。
サーバープロパティ用紙を使用する	プリンタウィンドウの［サーバーのプロパティ］で追加登録した用紙を使用します。
印刷前に認証設定を検証する	印刷前に本機に対し認証設定を検証し、適合しない場合はメッセージを表示します。
印刷時に認証設定の入力画面を表示する	印刷を指定するときにユーザー認証 / 部門管理設定ダイアログボックスを表示し、ユーザー名や部門名の入力を促します。
FAX 番号を直接入力する際に再確認をする	「FAX 送信ポップアップ」で「FAX 番号」を直接入力した場合、［送付先一覧に追加］をクリックしたときに、確認のため FAX 番号を再入力する画面を表示します。
不定形サイズの登録	不定形サイズの用紙を登録します。

参考

- 初期設定タブを表示させる場合は、インストールした「xxxxxxx FAX」のアイコンを右クリックして「プロパティ」をクリックします。

4.3　FAX タブの設定

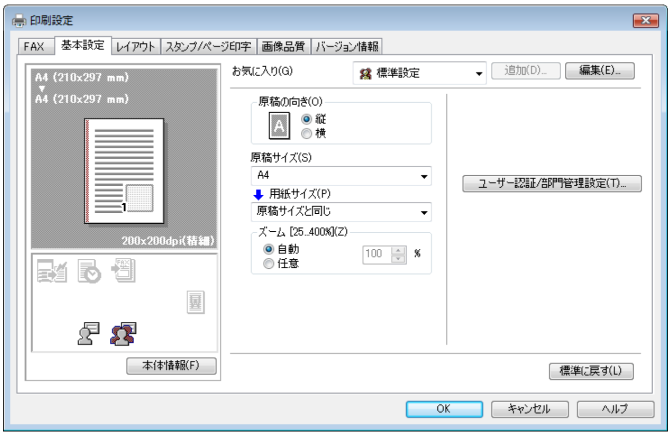


項目名	機能
解像度	ファクスの解像度を設定します。解像度を高くすると通信時間が長くなることがあります。
送信ファイルを印刷	ファクス送信したあとに原稿を印刷します。この機能は送信時の送信条件でも設定できます。詳しくは、4-6 ページをごらんください。
タイマー送信	送信する時刻を指定します。［現在時刻を反映］をクリックすると、コンピューターに設定されている現在時刻が「送信時刻」に表示されます。この機能は送信時の送信条件でも設定できます。詳しくは、4-6 ページをごらんください。
SUB アドレス	F コードを使用した親展通信を行う場合に SUB アドレスを指定します。この機能は送信時の送信条件でも設定できます。詳しくは、4-6 ページをごらんください。
送信 ID	F コードを使用した親展通信を行う場合に送信 ID を指定します。この機能は送信時の送信条件でも設定できます。詳しくは、4-6 ページをごらんください。
FAX カバーシート	ファクスのカバーシートを設定します。この機能は送信時でも設定できます。詳しくは、4-6 ページをごらんください。
電話帳の編集	電話帳を編集します。詳しくは、4-22 ページをごらんください。

参考

- タイマー送信を行うときは、コンピューターに設定されている時刻と本機に設定されている時刻が一致していることを確認してください。本機の現在時刻よりも送信時刻が前の場合は、翌日になってから送信されます。
- F コードを使用して他機種のファクスに親展通信を行う場合は「SUB アドレス」と「送信 ID」を入力します。「SUB アドレス」は 0 ～ 9 までの半角数字で 20 文字まで入力できます。
  「送信 ID」は 0 ～ 9 までの半角数字と、＃、* で、20 文字まで入力できます。SUB アドレスと送信 ID の詳細は、「ユーザーズガイド ネットワークスキャン／ファクス／ネットワークファクス機能編」をごらんください。

4.4　　基本設定タブの設定



項目名	機能
原稿の向き	送信する原稿の用紙方向を設定します。
原稿サイズ	送信する原稿の用紙サイズを設定します。
用紙サイズ	送信する用紙サイズを設定します。原稿サイズと異なる場合は、自動的に拡大、縮小されます。
ズーム	拡大・縮小率を設定します。
ユーザー認証 / 部門管理設定	本機で「ユーザー認証」している場合のユーザー名／パスワード、本機で「部門管理」している場合の部門名／パスワードを設定します。 ユーザー認証については 4-14 ページ、部門管理については 4-15 ページをごらんください。

4.4.1　　不定形サイズを設定する

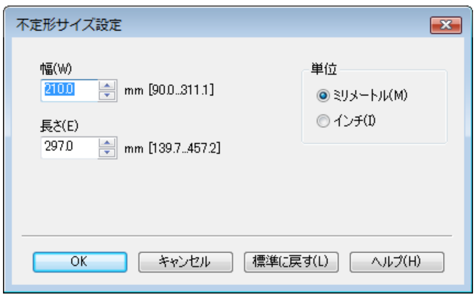
不定形サイズの原稿で送信する場合は、以下の操作で用紙サイズの数値を指定します。

1　「原稿サイズ」または「用紙サイズ」から「不定形サイズ」を選択します。

「不定形サイズ設定」ダイアログボックスが表示されます。

2　以下の項目を設定します。

項目名	機能
幅	不定形サイズの幅を単位に合わせて設定します。
長さ	不定形サイズの長さを単位に合わせて設定します。
単位	サイズを設定する単位を選択します。



3　［OK］をクリックします。

4.4.2 ユーザー認証を設定する

本機で認証モードが設定されている場合にユーザー名とパスワードを入力します。

参考

- 本機のユーザー認証で有効ではないユーザー名やパスワードを入力して送信したり、または「ユーザー認証」にチェックしないで送信した場合は、本機で認証されずにジョブが破棄されます。
- 本機でユーザー認証が設定され、認証操作禁止機能がモード 2 の場合、認証情報が正しく入力されていない場合は、該当するユーザーがロックされアクセスができなくなる場合があります。

参照

ユーザー認証が「装置情報」タブで設定されていないと、ユーザー認証が行えません。ユーザー認証を利用している場合は、必ず「装置オプション」で設定してください。詳しくは、4-20 ページをごらんください。

1 「基本設定」タブをクリックします。

2 ［ユーザー認証 / 部門管理設定］をクリックします。

3 「登録ユーザー」を「ON」にし、本機で登録されている「ユーザー名」と「パスワード」を入力します。



→ ユーザー名は半角 64 文字 / 全角 32 文字まで、パスワードは半角 64 文字まで入力できます。
→ 本機でパブリックユーザーが許可されている場合は、「パブリックユーザー」で利用できます。
→ ユーザー認証をサーバーで行っている場合は、サーバーの設定が必要です。［ユーザー認証サーバー設定］をクリックし、サーバーを選択してください。
→ ［検証］をクリックすると、本機と通信し入力したユーザーで認証可能かどうかを確認できます。この機能は、本機と通信可能な状態で接続されていないと利用できません。
→ 中間サーバーで認証を行っている場合、サーバー管理者により指定されているユーザー情報の入力が必要です。設定により、表示される画面や入力項目が異なります。詳しくはサーバーの管理者にお問合せください。
→ 中間サーバーで認証を行っている場合、本機の管理者設定で［システム連携］－［OpenAPI 設定］－［認証］を「使用しない」にしてください。詳しくは、「ユーザーズガイド プリンター機能編」をごらんください。

4 ［OK］をクリックします。

参考

- 登録ユーザーであっても、使用が許可されていない場合は送信できません。ユーザー認証については、本機の管理者にお問い合わせください。
- オプションの認証装置によるユーザー認証を行っている場合も、手順 3 の「ユーザー名」と「パスワード」を入力してください。詳しくは、「ユーザーズガイド　コピー機能編」をごらんください。

4.4.3 部門管理を設定する

本機側で「部門管理機能」を使用している場合、部門名とパスワードを入力する必要があります。

参考

- 本機側の「部門管理機能」で有効ではない部門名やパスワードを入力して送信したり、または「部門管理」にチェックしないで送信した場合は本機で認証されずにジョブが破棄されます。
- 本機の部門管理が設定され、認証操作禁止機能が「モード 2」の場合、認証情報が正しく入力されていない場合は、該当する部門がロックされアクセスができなくなる場合があります。

参照

部門管理が「装置情報」タブで設定されていないと、部門管理が行えません。部門管理を利用している場合は、必ず「装置オプション」で設定してください。詳しくは、4-20 ページをごらんください。

1 「基本設定」タブをクリックします。

2 ［ユーザー認証 / 部門管理設定］をクリックします。

3 本機で登録されている「部門名」と「パスワード」を入力します。



➔ 部門名とパスワードは半角 8 文字まで入力できます。

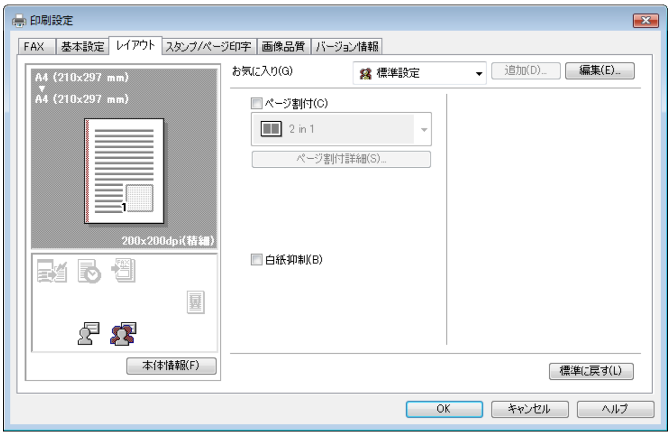
➔ ［検証］をクリックすると、本機と通信し入力したユーザーで認証可能かどうかを確認できます。この機能は、本機と通信可能な状態で接続されていないと利用できません。

4 ［OK］をクリックします。

参考

- 登録部門であっても、使用が許可されていない場合は送信できません。部門管理機能については、本機の管理者にお問い合わせください。

4.5 レイアウトタブの設定



項目名	機能
ページ割付	複数ページの文書を 1 枚の用紙に割付ける、または 1 枚の原稿を複数の用紙に分割して送信します。[ページ割付詳細] で詳細が設定できます。
白紙抑制	データに白ページがある場合、送信しません。

4.5.1 ページ割付（N in 1、拡大連写）を行う

複数ページの文書を 1 枚の用紙に印刷する N in 1 印刷や、1 枚の原稿を複数の用紙に分割する拡大連写印刷を指定します。

N in 1 印刷は、出力する用紙の枚数を節約したい場合などに便利です。

拡大連写印刷は、送信先のファクス装置が大きなサイズの用紙に対応していない場合に便利です。

1 「レイアウト」タブをクリックします。

2 「ページ割付」のチェックボックスを「ON」にし、ドロップダウンリストで条件を設定します。

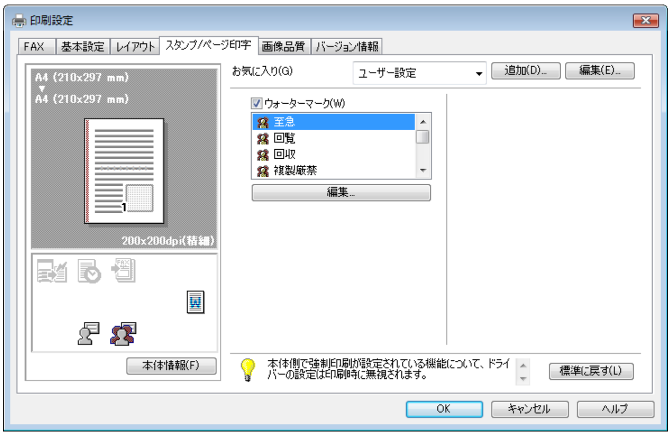
➔ 「境界」や「のりしろ線」などを設定するときは、[ページ割付詳細] をクリックし、表示されるダイアログボックスで設定します。



参考

- 1 つのジョブ内にサイズや方向が異なるページが含まれる文書を送信すると、画像が欠損したり、画像が重なったりする場合があります。

4.6 スタンプ / ページ印字タブの設定



4.6.1 ウォーターマークを付けて送信する

特定の文字をウォーターマークとして、文書の背景に付けて送信します。

1 「スタンプ / ページ印字」タブをクリックします。

2 「ウォーターマーク」のチェックボックスを「ON」にします。

3 リストで印刷したいウォーターマークを選択します。

4.6.2 ウォーターマークの編集

ウォーターマークの書体や位置を変更したり、新規にウォーターマークを登録できます。

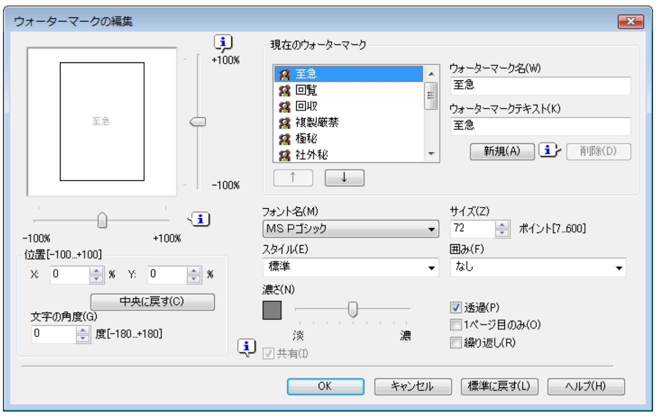
1 「スタンプ / ページ印字」タブをクリックします。

2 「ウォーターマーク」のチェックボックスを「ON」にします。

3 「ウォーターマーク」の下にある［編集］をクリックします。
「ウォーターマークの編集」ダイアログボックスが表示されます。

4 作成する場合は［新規］をクリックします。
➔ 変更する場合は「現在のウォーターマーク」から選択します。

5 各項目を設定します。



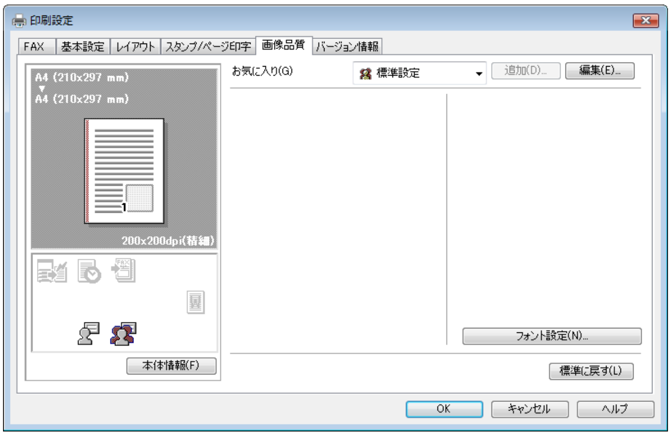
項目名	機能
ウォーターマーク名	名称を入力します。 30 文字まで入力できます。

項目名	機能
ウォーターマークテキスト	ウォーターマークとして印刷するテキストを入力します。 30 文字まで入力できます。
新規	クリックすると、新規ウォーターマークが作成できます。
削除	選択しているウォーターマークを削除します。
位置	上下左右の位置を設定します。右側と下側のスクロールバーでも設定できます。 ［中央に戻す］をクリックすると、位置が中央に戻ります。
文字の角度	ウォーターマークの印刷角度を設定します。
フォント名	フォントを設定します。
サイズ	サイズを設定します。
スタイル	フォントのスタイルを設定します。
囲み	囲みスタイルを設定します。
濃さ	文字の濃さを設定します。
共有	ウォーターマークを公開で登録するか、プライベートにするかを設定します。
透過	ウォーターマークを透過イメージで印刷します。
1 ページ目のみ	ウォーターマークを 1 ページ目のみ印刷します。
繰り返し	ウォーターマークを 1 ページの中で繰り返し印刷します。

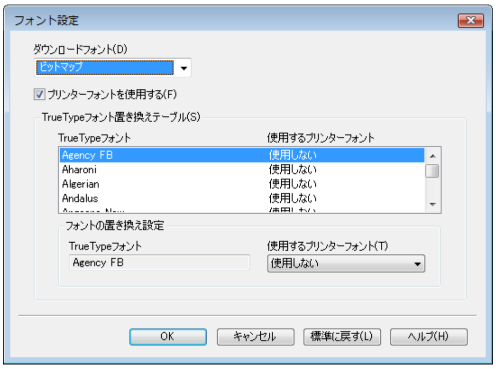
➔ ウォーターマークは共有設定 30 件、プライベート設定 20 件まで登録できます。
➔「共有」は、管理者のみ選択できます。

6 ［OK］をクリックします。

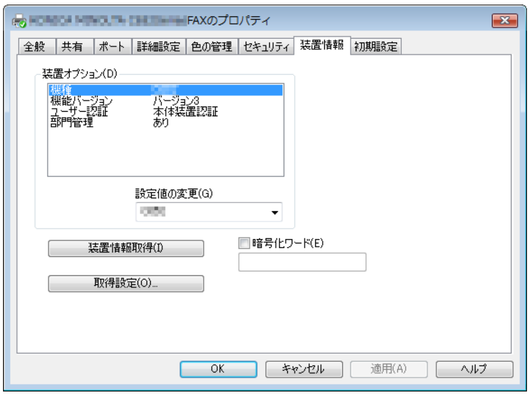
4.7　画像品質タブの設定



項目名	機能
フォント設定	コンピューターから本機にダウンロードするフォントをビットマップかアウトラインかで選択します。また、本機から、ファクス送信するときに、TrueType をプリンターフォントに置き換えるかを設定します。送信先で文字化けが発生する場合は、ダウンロードフォントをビットマップ、プリンターフォントを使用しない設定にすることをおすすめします。



4.8 装置情報タブの設定



4.8.1 オプションを選択する

オプションの有無を設定し、本機の機能をファクスドライバーから使用可能にします。

本機に装着されているオプションが「装置情報」タブで設定されていないと、ファクスドライバーでオプションの機能を使用できません。オプションを装着している場合は、必ず設定を行ってください。

1 「プリンタ」ウィンドウまたは「プリンタと FAX」ウィンドウを開きます。
   - ➔ Windows Vista/Server 2008 の場合は、[スタート] をクリックして「コントロールパネル」を開き、「ハードウェアとサウンド」の「プリンタ」をクリックします。
     「コントロールパネル」がクラシック表示になっている場合は、「プリンタ」をダブルクリックします。
   - ➔ Windows XP/Server 2003 の場合は、[スタート] をクリックし、「プリンタと FAX」をクリックします。
   - ➔ Windows XP/Server 2003 で [スタート] メニューに「プリンタと FAX」が表示されていない場合は、[スタート] メニューから「コントロールパネル」を開き、「プリンタとその他のハードウェア」を選び、さらに「プリンタと FAX」を選びます。
     「コントロールパネル」がクラシック表示になっている場合は、「プリンタ」をダブルクリックします。
   - ➔ Windows 2000/NT 4.0 の場合は、[スタート] をクリックし、[設定] ‒「プリンタ」をクリックします。

2 インストールした「xxxxxxx FAX」のアイコンを右クリックして「プロパティ」をクリックします。

3 「装置情報」タブをクリックします。

4 「装置オプション」で「機種」を選択します。

5 「設定値の変更」ドロップダウンリストで使用する機種名を選択します。

6 「装置オプション」で設定するオプションを選択します。

7 「設定値の変更」ドロップダウンリストで装着しているオプションの状態を選択します。

参考

- 「機種」の設定がある場合は、使用する機種を選択します。
- 「装置オプション」の機種とオプションは、[取得設定] が「自動取得」になっていれば自動的に設定されます。「自動取得」になっていない場合は、[装置情報取得] または手動で必ず設定してください。
- 「機能バージョン」は、本機のバージョンに対応します。本機のバージョンは、操作パネルの [設定メニュー / カウンター] を押し、[装置情報表示] を押すと確認できます。[装置情報表示] が表示されない場合のバージョンは「バージョン 1」です。
  本書の内容は、バージョン 3 の機能に対応しています。
- [装置情報取得] は本機と通信し、本機での設定の状態を読み取ります。この機能は、本機と通信可能な状態で接続されていないと利用できません。また、[装置情報取得] を利用するときは、本機の管理者設定で [システム連携] ‒ [OpenAPI 設定] ‒ [認証] を「使用しない」にしてください。詳しくは、「ユーザーズガイド プリンター機能編」をごらんください。

- 接続先は［取得設定］をクリックして設定できます。

4.8.2 暗号化ワードを変更する

本機でユーザーが暗号化ワードを定義している場合に、本機と同じ暗号化ワードを入力します。

入力した文字に対する暗号鍵が自動的に生成され、本機との通信に利用されます。

参照

「暗号化ワード」は本機の「ドライバーパスワード暗号化設定」で設定した暗号化ワードと一致させてください。詳しくは、「ユーザーズガイド プリンター機能編」をごらんください。

1 「装置情報」タブをクリックします。

2 「暗号化ワード」のチェックボックスを「ON」にします。

3 「暗号化ワード」を入力します。

➔ 半角 20 文字で入力します。

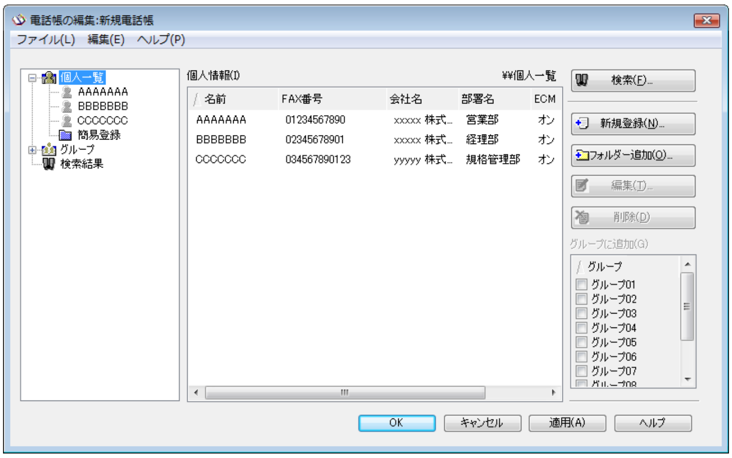
4.9 電話帳の利用

4.9.1 電話帳に登録する

よく利用する送信先を電話帳に登録しておけば、送信時に呼び出して利用できます。電話帳はファクスドライバープロパティの「FAX」タブで登録します。

1 ファクスドライバープロパティの「FAX」タブで［電話帳の編集］をクリックします。

「電話帳の編集」画面が表示されます。



2 電話帳左側のリストから「個人一覧」を選択し、［新規登録］をクリックします。

「個人情報」ダイアログボックスが表示されます。

3 「名前」「FAX 番号」「会社名」「部署名」を入力します。



→ FAX カバーシートで名前を記載する場合、敬称は付加されません。FAX カバーシートで敬称をつけたい場合は「名前」に敬称を付けて入力してください。
→ 「名前」「会社名」「部署名」は、80 文字まで入力できます。
→ 「FAX 番号」は、0 ～ 9 の数字とハイフン (-)、スペース、#、*、E、P、T が半角 38 文字まで入力できます。海外へ送信する場合は、番号の最初に国番号を入力してください。
→ 通信モードは必要に応じて変更してください。
ECM：ECM（エラー訂正モード）を設定します。V.34 が「ON」の場合は「OFF」にできません。
海外通信モード：海外通信時に速度を遅くして送信します。海外への通信がエラーになる場合は「ON」にしてください。
V.34：スーパー G3 のファクス送信モードを設定します。通常は「ON」で使用し、相手先のモードで通信できない場合のみ「OFF」にしてください。

4 グループに登録する場合は、登録するグループにチェックマークを付けます。

➔ グループに登録すると、送付先をグループで指定できます（同報送信）。決まったメンバーに送信することがある場合はグループに登録しておくと便利です。

➔ 登録するグループは複数選択できます。

➔ グループ名は変更できます。

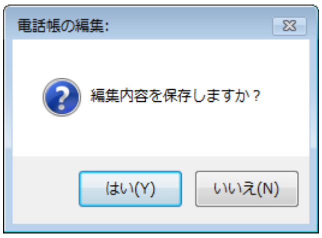
5 ［OK］をクリックします。

個人情報が登録され、個人一覧に表示されます。
グループを指定した場合は、登録したグループの一覧にも表示されます。

6 ［OK］をクリックします。

名前を追加した場合は電話帳の編集を終了します。
初めて電話帳を登録した場合は、保存を確認するダイアログボックスが表示されます。

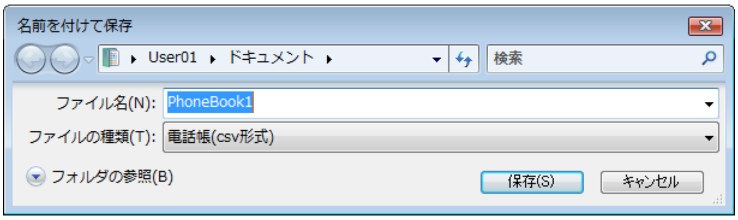
7 ［はい］をクリックします。



「名前を付けて保存」ダイアログボックスが表示されます。

8 保存する場所を指定してファイル名を入力し、［保存］をクリックします。

電話帳がファイルとして保存されます。



➔「名前を付けて保存」ダイアログボックスは、初めて電話帳を登録した場合に表示されます。2 回目以降に電話帳を変更した場合は、「名前を付けて保存」画面は表示されず、自動的に上書きされます。

➔ 保存した電話帳ファイルは、次回、電話帳を開いたときに自動的に表示されます。別の電話帳ファイルを開く場合は、「電話帳の編集」ダイアログボックスの「ファイル」メニューで「開く」を選択します。複数の電話帳ファイルを保存しておくことで、電話帳を切換えて利用できます。

➔ 電話帳ファイルは、「電話帳の編集」ダイアログボックスの「ファイル」メニューの「新規」で新規に作成できます。「ファイル」メニューの「名前を付けて保存」で別名保存できます。

➔ 電話帳ファイルの拡張子は「.csv」となります。

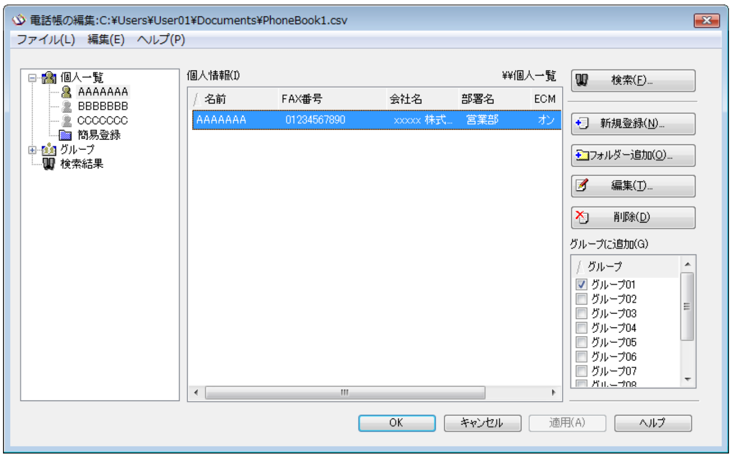
4.9.2 電話帳を編集する

登録した個人情報を変更したり、グループの名前を変更するなど、電話帳を編集、整理することで使いやすくできます。

個人情報を変更する

電話帳左側の「個人一覧」から変更したい名前を選択し、右側の［編集］をクリックします。登録時と同じ「個人情報」ダイアログボックスが表示され、変更できます。

電話帳左側の「個人一覧」から変更したい名前を選択し、右側の［削除］をクリックすると削除できます。このとき、登録されているグループからも削除されます。

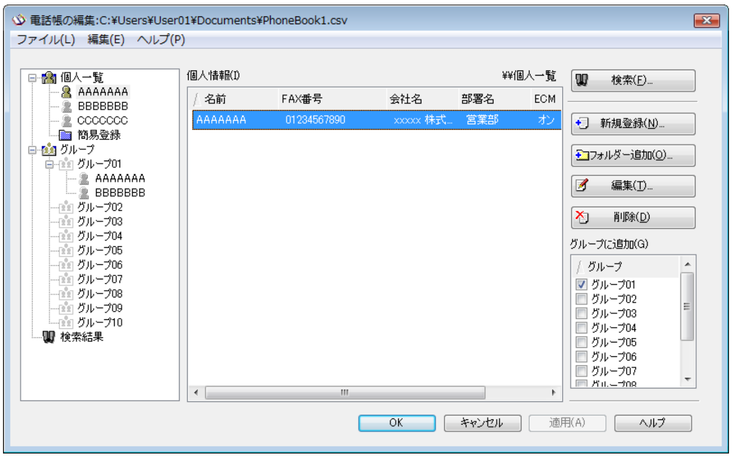


参考

- 送信時に手動で入力した名前／ FAX 番号を［電話帳へ登録］で登録してある場合は、電話帳の「簡易登録」フォルダーに表示されます。

グループへの登録を変更する

電話帳左側の「個人一覧」から変更したい名前を選択し、右側のグループ一覧のチェックを外したり付けたりして変更します。



参考

- 電話帳左側の「個人一覧」から名前をグループにドラッグしても登録できますが、ドラッグでグループから外すことはできません。
- グループへは、100 件まで登録できます。

グループ名を変更する

電話帳左側の「グループ」から変更したいグループを選択し、「編集」メニューの「グループ名の変更」を指定します。

フォルダーを作成する

電話帳左側の「個人一覧」を選択し、［フォルダー追加］をクリックしてフォルダーを作成します。「編集」メニューの「フォルダーの追加」を指定しても作成できます。「個人一覧」から名前をフォルダーにドラッグすると移動できます。

フォルダーを修正する場合は、目的のフォルダーを選択して［編集］をクリックします。

フォルダーを削除する場合は、目的のフォルダーを選択して［削除］をクリックします。

参考

- 名前を右クリックして「コピー」または「切り取り」をし、目的のフォルダー内で「貼り付け」をしてもフォルダーへ移動できます。
- フォルダー名は 40 文字まで入力できます。
- フォルダーは 3 階層まで作成できます。

個人情報を検索する

電話帳右側の［検索］をクリックすると、検索条件を指定できる「検索」ダイアログボックスが表示されます。

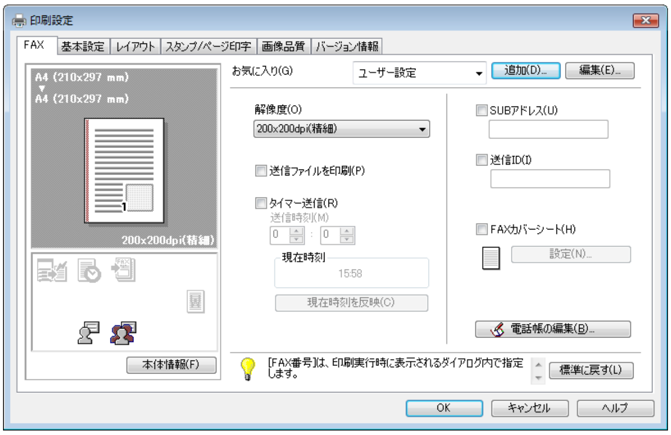
4.10　ドライバー設定を保存する

変更したドライバーの設定値を保存し、必要に応じて呼び出せます。

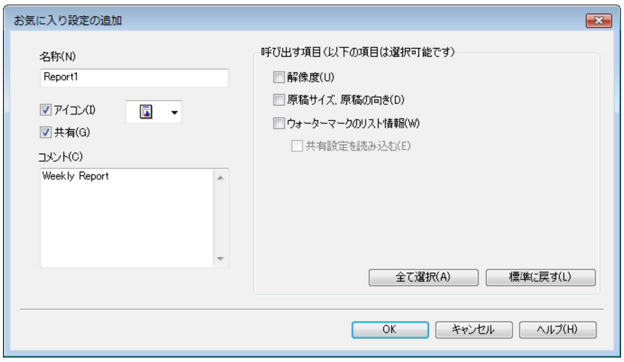
4.10.1　ドライバーの設定を保存する

1　「基本設定」タブや「レイアウト」タブなどでドライバーの設定値を変更します。

2　「お気に入り」の［追加］をクリックします。



3　各項目を設定します。



項目名	機能
名称	設定の登録名称を入力します。 「名称」は 30 文字まで入力できます。
アイコン	アイコンを設定します。アイコンは設定しなくても登録できます。
共有	設定ファイルを公開で登録するか、プライベートにするかを設定します。
コメント	必要であれば設定ファイルの詳細説明を入力します。 コメントは 255 文字まで入力できます。
呼び出す項目	登録した設定値のうち、「お気に入り」を選択したときに適用する機能をチェックします。 チェックしない項目の設定値は、「お気に入り」を選んでも値は変更されません。

4　［OK］をクリックします。

設定内容が「お気に入り」リストに登録されます。

➔ 設定は共有設定 30 件、プライベート設定 20 件まで登録できます。

➔「共有」は、管理者のみ選択できます。

参照

設定した内容をファイルに保存（エクスポート）することもできます。詳しくは、4-28 ページをごらんください。

4.10.2 設定を呼び出すには

ファクスドライバー画面の「お気に入り」ドロップダウンリストで呼び出す設定を選択します。

設定値が呼び出され、ファクスドライバーの設定が変更されます。

4.10.3 設定を編集する

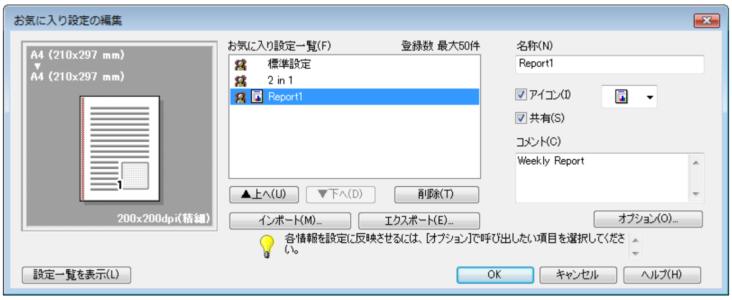
設定名称やコメント、呼び出す機能項目を選択するなどの編集ができます。

1 ファクスドライバー画面で「お気に入り」の［編集］をクリックします。

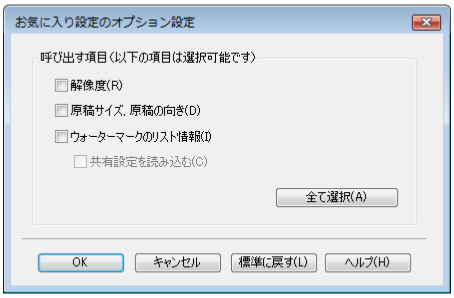
2 リストから、変更したい設定名を選択し、項目を設定します。

➔ 削除する場合は、ここで［削除］をクリックします。

➔ 表示順を入れ替えたい場合は［▲上へ］［▼下へ］で移動します。



3 ［オプション］をクリックし、呼び出す機能をチェックし、［OK］をクリックします。



4 ［OK］をクリックします。

参考

- ドライバーの機能の設定内容を変更することはできません。

4.10.4 ドライバー設定のインポート／エクスポート

設定した内容をファイルに保存（エクスポート）したり、読み込み（インポート）することもできます。
他のコンピューターでも同じ設定内容を利用したいときなどに便利です。

1 ファクスドライバー画面で「お気に入り」の［編集］をクリックします。

2 リストから、エクスポートしたい設定名を選択し、［エクスポート］をクリックします。

設定ファイルを保存するダイアログボックスが表示されます。

3 ファイルを保存する場所を指定してファイル名を入力します。

4 ［保存］をクリックします。

設定ファイルが作成されます。拡張子「.ksf」になります。

参考

- 保存した設定ファイルをお気に入り一覧に読み込む場合は、［インポート］をクリックしてファイルを指定します。

5 トラブルシューティング

5 トラブルシューティング

トラブルが発生した場合の処置について説明します。

5.1 送信できない

本章では、想定するトラブルおよび困った場合の解決方法について説明します。

送信を実行したにもかかわらず、送信できない場合に、上から順に確認してください。

状況	考えられる原因	対処方法
コンピューター上の画面に「プリンターが接続されていない」または「印刷エラー」という内容のメッセージが表示される。	送信時に指定しているファクスドライバーがプリンターコントローラー対応になっていない可能性があります。	指定しているプリンター名を確認してください。
	ネットワークケーブルまたはUSB ケーブルが外れている可能性があります。	ケーブルが正しく接続されていることを確認してください。
	本機側でエラーが発生している可能性があります。	本機の操作パネルを確認してください。
	メモリが不足している可能性があります。	テスト送信できるか確認してください。
コンピューター側の印刷処理は終了したが送信が開始されない。	送信時に指定しているファクスドライバーがプリンターコントローラー対応になっていない可能性があります。	指定しているプリンター名を確認してください。
	ネットワークケーブルまたはUSB ケーブルが外れている可能性があります。	ケーブルが正しく接続されていることを確認してください。
	本機側でエラーが発生している可能性があります。	本機の操作パネルを確認してください。
	未処理のジョブが本機に残っていて、処理待ち状態になっている可能性があります。	本機の操作パネルのジョブ確認でジョブの順番を確認してください。
	部門管理している場合、登録以外の部門名とパスワードを入力している可能性があります。	部門名とパスワードを正しく入力してください。
	認証設定している場合、登録以外のユーザー名やパスワードを入力している可能性があります。	ユーザー名やパスワードを正しく入力してください。
	コンピューターのメモリが不足している可能性があります。	テスト送信できるか確認してください。
	プリンターコントローラーとのネットワークが確立されていません（ネットワーク接続時）。	ネットワーク管理者にご相談ください。
	本機側でセキュリティ強化モードになっている可能性があります。	セキュリティ強化モードでの認証設定を行ってください。詳しくは、ネットワーク管理者にご相談ください。

以上のことを確認しても解決しない場合は、「ユーザーズガイド コピー機能編」、「ユーザーズガイド ネットワークスキャン／ファクス／ネットワークファクス機能編」、「ユーザーズガイド プリンター機能編」をお読みください。

5.2 設定できない／設定したとおりに送信できない

ファクスドライバーで設定ができない場合や、設定してもそのとおりに送信されない場合に確認してください。

参考

- ファクスドライバーの項目を設定する場合、項目によっては同時に選択できないものがあります。

状況	考えられる原因	対処方法
ファクスドライバー上で項目が選択できない。	機能によっては組み合わせできない場合があります。	グレー表示の部分は設定できません。
コンピューター画面上に「設定できない」「機能が解除される」内容の「競合」メッセージが表示される。	組み合わせできない機能を設定しています。	内容をよく確認し、機能を指定しなおしてください。
設定したとおりに送信できない。	正しく設定されていない可能性があります。	ファクスドライバーの各設定項目を確認してください。
	ファクスドライバー上では組み合わせて設定できますが、本機としては組み合わせができません。	
	アプリケーションで設定した用紙サイズや用紙の向きなどがファクスドライバーでの設定より優先されて送信されることがあります。	アプリケーション側の設定を正しく設定してください。
ウォーターマークが付かない。	ウォーターマークを正しく設定していない可能性があります。	ウォーターマークの設定を確認してください。
	ウォーターマークの濃度が薄い可能性があります。	濃淡設定を確認してください。
	グラフィックス系などのアプリケーションソフトウェアでは、ウォーターマークが出力されないことがあります。	この場合、ウォーターマークは出力できません。
送信先で文字化けが発生する。	OS からアウトラインイメージが取得できないことがあります。	送信先で文字化けが発生する場合などは、ダウンロードフォントをビットマップ、プリンターフォントを使用しない設定にすることをおすすめします。

5.2.1 エラーメッセージ

メッセージ	原因と対処方法
ネットワークに接続できませんでした	ネットワークに接続できませんでした。ネットワークケーブルが正しく接続されているか確認してください。また、「管理者設定」の「ネットワーク設定」が正しく行われているか確認してください。

6 付録

6 付録

使用する用語の解説を記載していますので、必要に応じてお読みください。

6.1 用語集

	用語	説明
記号・アルファベット	10Base-T/ 100Base-TX/ 1000Base-T	Ethernet の規格における仕様の一種。銅でできた線材を 2 本ずつより合わせたケーブルを使っている。通信速度は 10Base-T が 10Mbps、100Base-TX が 100Mbps、1000Base-T は 1000Mbps である
	bit	Binary Digit の略。コンピューターやプリンターなどが扱う情報（データ量）の最小単位。0 か 1 かでデータを表す。
	BMP	Bitmap の略。画像データを保存するファイル形式の 1 つ（拡張子は .bmp）。 Windows 上で一般的に使用されている。白黒（2 値）の画像からフルカラー（1677 万 7216 色）までの色数を指定できる。基本的には圧縮せずに画像を保存する。
	BOOTP	BOOTstrap Protocol の略。TCP/IP ネットワーク上のクライアントマシンが、サーバーからネットワークに関する設定を自動的に読込むプロトコル。ただし現在では BOOTP をベースとして一部改良した DHCP が主流になっている。
	Byte	コンピューターやプリンターなどが扱う情報（データ量）の単位。1Byte=8bit で構成される。
	Default Gateway	同一 LAN 上に存在しないコンピューターへアクセスする際に使用する「出入り口」の代表となるコンピューターやルーターなどの機器のこと。
	DHCP	Dynamic Host Configuration Protocol の略。TCP/IP ネットワーク上のクライアントマシンが、サーバーからネットワークに関する設定を自動的に読込むプロトコル。DHCP サーバーで DHCP クライアント用に IP アドレスを一括管理するだけで、アドレスの重複を避け、容易にネットワークの構築ができる。
	DNS	Domain Name System の略。ネットワーク環境において、ホスト名から対応する IP アドレスを取得できるようにするシステムのこと。これによりユーザーは、憶えにくく、分かりにくい IP アドレスではなく、ホストの名前を指定してネットワーク上の他のコンピューターにアクセスできるようになる。
	DPI（dpi）	Dots Per Inch の略。プリンターやスキャナーなどで使われる解像度の単位。1 インチを何個の点の集まりとして表現するかを表す。この値が高いほど、より精細な表現が可能となる。
	FTP	File Transfer Protocol の略。インターネットやイントラネットなどの TCP/IP ネットワークでファイルを転送するときに使われるプロトコルのこと。
	HTTP	HyperText Transfer Protocol の略。Web サーバーとクライアント（Web ブラウザーなど）がデータを送受信するのに使われるプロトコル。文書に関連付けられている画像、音声、動画などのファイルを、表現形式などの情報を含めてやり取りできる。
	IPP	Internet Printing Protocol の略。インターネットなどの TCP/IP ネットワークを通じて、印刷データの送受信や印刷機器の制御を行うプロトコルのこと。インターネットを通じて遠隔地のプリンターにデータを送って印刷することもできる。
	IPX	NetWare で利用されるプロトコルのひとつ。OSI 参照モデルのネットワーク層で動作する。
	IPX/SPX	Internetwork Packet exchange/Sequenced Packet exchange の略。Novel 社により開発された、NetWare 環境下で一般的に使用されるプロトコルのこと。

用語	説明
IP アドレス	インターネット上で個々のネットワーク機器を識別する符号（アドレス）。現在広く普及している IPv4（Internet Protocol version 4）は、4 つに区切られた 32 ビットの数値が使われ、192.168.1.10 のように表される。次世代の IPv6（Internet Protocol version 6）では、128 ビットの IP アドレスが使われる。コンピューターを始めとしてインターネットに接続した機器には、全て IP アドレスが割り振られる。
LAN	Local Area Network の略。同一フロア、同一のビルないしは近隣のビル内などにあるコンピューター同士を接続したネットワークのこと。
LPD	Line Printer Daemon の略。TCP/IP 上で動作する、プラットフォームに依存しない印刷プロトコル。もともと BSD UNIX 用に開発されたが、一般のコンピューターでも使用されるようになり、今では標準的な印刷プロトコルとなっている。
LPR/LPD	Line Printer Request/Line Printer Daemon の略。WindowsNT 系、UNIX 系におけるネットワーク経由印刷の 1 種。TCP/IP を使って、Windows、UNIX からの印刷データをネットワーク上にあるプリンターに出力させることができる。
MAC Address	Media Access Control address の略。各 Ethernet カード固有の ID 番号で、これを元にカード間のデータの送受信が行われる。48 ビットの数字で表現されており、前半の 24 ビットは IEEE が管理・割当てをしている各メーカーごとに固有な番号で、後半の 24 ビットはメーカーが一意にカードに割当てる番号である。
NDPS	Novell Distributed Print Services の略。NDS 環境において高機能なプリントソリューションを提供する。NDPS をプリントサーバーとして利用することにより、希望するプリンターからの出力、新規プリンター導入時のドライバーの自動ダウンロードなど、プリンター利用に関する煩雑な管理環境を簡素化・自動化できるほか、ネットワーク・プリンターに関わる統合的な管理を行うことができる。
NDS	Novell Directory Service の略。ネットワーク上に存在するサーバーやプリンター、ユーザー情報などの共有資源、またそれらに対する個々のユーザーのアクセス権限などの情報を、階層構造で一元管理できる。
NetBIOS	Network Basic Input Output System の略。IBM 社によって開発された通信インターフェースのこと。
NetBEUI	NetBIOS Extended User Interface の略。IBM 社が開発したネットワークプロトコル。コンピューター名を設定するだけで、小規模なネットワークを構築できる。
NetWare	ノベル社が開発したネットワーク OS。通信プロトコルに NetWare IPX/SPX を使用している。
Nprinter/ Rprinter	Netware 環境下でプリントサーバーを使用する場合の、リモートプリンターサポートモジュールのこと。Netware 3.x で Rprinter、Netware 4.x で Nprinter を使用する。
OS（オーエス）	Operating System の略。コンピューターのシステムを管理する基本ソフトウェア。Windows/MacOS/Unix もその中の 1 つ。
PDF	Portable Document Format の略。電子形式書類の 1 つ（拡張子は .pdf）。PostScript をベースとしたフォーマットで、Adobe Acrobat Reader という無料ソフトを使用して閲覧できる。
PDL	Page Description Language の略。ページプリンターで印刷するとき、プリンターにページ単位で印刷イメージを指示する言語。
Proxy Server	Internet との接続において、各クライアントの代わりに外部との接続窓口となり、組織全体で効率的にセキュリティを確保するために設置されるサーバーのこと
PServer	Netware 環境下におけるプリントサーバーモジュールのこと。プリントジョブの監視、変更、休止、再開、および中止を行う。
Queue Name	ネットワーク印刷を行うときに、印刷を許可させる為に機器毎に設定する名称。

	用語	説明
	RIP	Raster Image Processor の略。PostScript 等のページ記述言語を用いて記述されたテキストデータを、画像イメージに展開する処理のこと。通常はプリンターに内蔵されている。
	Samba	SMB（Server Message Block）を利用して、UNIX システムの資源を Windows 環境から利用できるようにする、UNIX のサーバーソフトウェア。
	SLP	Service Location Protocol の略。TCP/IP ネットワーク上のサービスの検索や、クライアントの自動設定などを可能にするプロトコルのこと。
	SMB	Server Message Block の略。主に Windows 間でネットワークを通じてファイル共有やプリンター共有を実現するプロトコルのこと。
	SMTP	Simple Mail Transfer Protocol の略。電子メールを送信／転送するためのプロトコルのこと。
	SNMP	Simple Network Management Protocol の略。TCP/IP を使ったネットワーク環境での管理プロトコルのこと。
	TCP/IP	Transmission Control Protocol/Internet Protocol の略。インターネットにて使用されている事実上標準的なプロトコルのこと。個々のネットワーク機器を識別するために、IP アドレスを使用する。
	TrueType	アウトラインフォントの一種。Apple 社と Microsoft 社によって開発され、Macintosh や Windows には標準で採用されている。ディスプレイ表示と印刷の両方に使用できる。
	USB	Universal Serial Bus の略。コンピューターとマウスやプリンター等を接続するための汎用インターフェース規格のこと。
	WINS	Windows Internet Name Service の略。Windows 環境で、コンピューター名と IP アドレス変換を行うネームサーバーを呼び出すためのサービス。
あ行	アウトラインフォント	文字の形を、直線や曲線による輪郭線で表したフォントのこと。文字サイズが大きくなっても、ギザギザの無い画面表示と印刷ができる。
	アンインストール	インストールされているソフトウェアを削除すること。
	イーサネット（Ethernet）	LAN の伝送路に関する規格のこと。
	印刷ジョブ	PC から印刷機器に送信される印刷要求のこと。
	インストール	ハードウェア、OS、アプリケーション、プリンタードライバー等を、コンピューターのシステムに組み込むこと。
	ウェブブラウザー	Web ページを閲覧するためのソフトウェアのこと。 Internet Explorer や、Netscape Navigator などがある。
か行	解像度	画像や印刷物の細部を、どれだけ正確に再現できるかを表したもの。
	輝度	ディスプレイ等の画面の明るさのこと。
	キュー名	LPD/LPR 印刷のときに必要な論理プリンター名のこと。
	共有プリンター	ネットワーク上のサーバーに接続され、複数のコンピューターから使用できるように設定されたプリンターのこと。
	クライアント	ネットワークを介して、サーバーが提供するサービスを利用する側のコンピューターのこと。
	グレースケール	黒から白への階調情報を使用して表現したモノクロ画像の表現形式のこと。
	ゲートウェイ	ネットワークとネットワークを接続するポイントとなるハードウェアやソフトウェアのこと。単に接続するだけでなく、接続先のネットワークに合わせて、データのフォーマット、アドレス、プロトコルなどを変換する。

	用語	説明
さ行	サブネットマスク	TCP/IP ネットワークをいくつかの小さなネットワーク（サブネット）に区切るために用いる値。IP アドレスの上位何ビットがネットワークアドレスであるかを識別するために使用する。
	スクリーンフォント	CRT などのモニタ上で、文字／記号を表示するためのフォント。
	スプール（Spool）	Simultaneous Peripheral Operation On-Line の略。プリンター出力で、データを直接プリンターに送らず、一時的に別の場所に貯めておき、後でまとめてプリンターに送信すること。
た行	タッチ＆プリント	ユーザー認証時にプリンタードライバーから送信したジョブを本体と接続された認証装置に指または IC カードをかざすだけでプリントできる機能。タッチ＆プリント機能を利用するときは、本機に認証装置を装着し、ユーザーごとに静脈または IC カードの ID を登録する必要がある。
	ドライバー	コンピューターと周辺機器の橋渡しをするソフトウェアのこと。
は行	ハードディスク	データを保存するための大容量記憶装置。電源を OFF しても、データが保持される。
	ピア・ツー・ピア	専用のサーバーを使うことなく、接続された機器同士が、相互に通信可能なネットワーク形態のこと。
	プラグアンドプレイ	周辺機器を PC に接続した時に、適切なドライバーが自動検索されて使用可能になる仕組みのこと。
	プリンタードライバー	コンピューターとプリンターの橋渡しをするソフトウェアのこと。
	プリンターバッファ	印刷ジョブのデータ処理のために、一時的に利用されるメモリ領域。
	プリントキュー	スプーラにおいて、発生したプリントジョブを記憶しておくソフトウェアシステム。
	フレームタイプ	Netware 環境において使用される通信形式の種類のこと。同じフレームタイプ同士でなければ、通信する事ができない。
	プレビュー	印刷／スキャン処理前に、あらかじめ処理後のイメージを表示する機能のこと。
	プロトコル	コンピューターが他のコンピューターや周辺機器と互いに通信するための規約のこと。
	プロパティ	属性情報のこと。プリンタードライバーを使用するときは、プロパティから様々な機能の設定を行う事ができる。またファイルのプロパティでは、そのファイルの属性情報を確認する事ができる。
	プロファイル	カラー属性ファイル。カラー入出力機器が色再現を行うために使用する、各原色の入出力の相関関係がまとめられた専用ファイルのこと。
	ホスト名	ネットワーク上の機器を表す名前のこと。
ま行	メモリ	データを一時保存するための記憶装置のこと。電源を OFF した時にデータが消去されるものと、消去されないものがある。
ら行	ローカルプリンター	コンピューターのパラレル／ USB ポートに接続されたプリンターのこと。

7 索引

7 索引

7.1 項目別索引

や行

ら行

7.2 キー索引

あ行

さ行

た行

は行

や行

お問い合わせは

■ 販売店連絡先

《販売店 連絡先》

販売店名

電話番号

担当部門

担当者

■ 保守・操作・修理・サポートのお問い合わせ

この商品の保守・操作方法・修理・サポートについてのお問い合わせは、お買い上げの販売店、サービス実施店にご連絡ください。

《保守・操作・修理・サポートのお問い合わせ先》

TEL

コニカミノルタ ビジネスソリューションズ株式会社

〒103-0023　東京都中央区日本橋本町1丁目5番4号

当社についての詳しい情報はインターネットでご覧いただけます。　**http://bj.konicaminolta.jp**

当社に関する要望、ご意見、ご相談、その他お困りの点などございましたら、お客様相談室にご連絡ください。
お客様相談室電話番号　フリーダイヤル：0120-805039（受付時間 ： 土、日、祝日を除く9:00～12:00 / 13:00～17:00）

国内総販売元
コニカミノルタ ビジネスソリューションズ株式会社

製造元
コニカミノルタ ビジネステクノロジーズ株式会社
〒100-0005 東京都千代田区丸の内一丁目6番1号 丸の内センタービルディング

A1DM-9583FD-00

2009.11